

芸劇 BUZZ

TOKYO METROPOLITAN THEATRE EVENT INFORMATION

vol.8 2014
7.8.9.



特集・PICKUP

コンサートオペラvol.2

G.ヴェルディ歌劇「ドン・カルロス」

ケント・ナガノ指揮

モントリオール交響楽団

ブラスウィーク2014

世界のマエストロシリーズvol.2

R.エリシュカ&読売日本交響楽団

勅使川原三郎 新作公演

「睡眠 - Sleep -」

野田秀樹×藤田貴大

「小指の思い出」

芸劇eyes 芸劇dance eyes plus ほか

ハイバイ／はえぎわ／BATIK／

サンプル／二兎社／

富士山アネット／ポリグラフ

オックスフォード大学演劇協会 (OUDS) 来日公演

「十二夜」

大道芸／にゅ～盆踊り

対談

東京芸術劇場 芸術監督

野田秀樹

演出家

孫 振策 (ソン ジンチェク)

CALENDAR

7月・8月・9月

REPORT

野田秀樹「THE BEE」

ヨーロッパツアー2014 in パリ

朗読「東京」

東京芸術劇場コンサートオペラvol.2

G.ヴェルディ 歌劇「ドン・カルロス」

DON CARLOS

Giuseppe Verdi 9 Version Paris en 5 actes

パリ初演版・フランス語全5幕【日本初演】演奏会形式

—東京芸術劇場『ドン・カルロス』パリ版 日本初演に寄せて—

理解への第一歩は 「原点を顧みる」ことから

イタリアのヴェルディがなぜパリ・オペラ座のためにフランス語の歌劇を作ったか？ 文人たちのドラマを見抜く眼、世界一と称された金管の演奏水準 — 大作『ドン・カルロス』は、大作曲家が「言葉の壁」を乗り越えた証なのだ！

ジュゼッペ・ヴェルディは「感情を活かした」作曲家である。彼は喜びなら何でも嘔み締め、悔しさは決して忘れなかった。だから、二十年近くも前のオペラでも、弱点を感じたならすぐさま改稿に取り組み、音楽を補強したのである。

でも、だからといって元の「オリジナル版」をお蔵入りにして良いものか？とんでもない！たとえ粗削りの個性でも、若書きの旋律線には若書きなりのエネルギーが溢れている。それはいわば、水を完全に弾く十代の素肌のように、有無を言わさぬ健康美を備えたものなのだ。

今回、東京芸術劇場が総力を挙げて取り組む『ドン・カルロス』パリ版日本初演のステージは、まさに、この大作の「素顔」に触れるか

けがえのない機会である。原点を知ってこそ成長の度合いも判るといふもの。本作に初めて接する人なら、作曲家の初志に先入観なく接することができるし、改訂版『ドン・カルロス(カルロ)』のファン層も、書き直されたページとオリジナルとの違いを目の当たりにして、ヴェルディが本作に傾けた情熱の量に思いを馳せるに違いない。

本作は一般的に『ドン・カルロ Don Carlo』と呼ばれている。その理由は、今は「イタリア語訳詞」での上演が主流であるから。しかし、本来の題は『ドン・カルロス Don Carlos』。仏語ではCarlosのSを発音する。そこで強調しておきたい。今回のパリ版の日本初演は、このオペラにおけるヴェルディの音作りを正しく掴む絶好のチャンスでもあるということ。

フランス語とイタリア語では、単語の字面が似ていても、音の長さや語順が相当に違う。だから、作曲家が歌詞を活かそうと懸命に作ったフレーズでも、訳詞になると違う意味の言葉が滑り込んでしまう。また、子音と音符が反応しての鮮烈な音の燦めきも、詩句のずれて消し飛ぶことが多いのだ。本作で伊語訳詞とは、いわば「育ての母」の立場。世界中で上演される道を作ってやったのだから、でも、「生みの母」の仏語で歌うと、音と言葉の繋がりが一挙に濃密になり、聴く人に驚きを与えるのである。

また、『ドン・カルロス(カルロ)』には5幕版と4幕版の違いも存在する。今回のパリ版は、大まかに言うと「改稿されていない5幕版」になるが、そのまま演奏すると4時間半を超えるので、今回は少しずつ切り詰めて、繰り返しのパッセージやバレエ場面をカットする。でも、5幕版ならではの第1幕が聴けるのは何よりの喜び。王子と王女が出会い、愛を燃え上らせた途端に引き裂かれるというこの導入部に、ヴェルディがどれほど心を込めて音楽を付けたことか — 4幕版では決して味わえないこの幕は、実は文豪シラーの原作にはなく、フランスの台本作家コンビがアイデアを駆使して作った名場面である。その真価も仏語の歌でいっそう鮮明になるだろう。

今回は、主役カップルから小さな役まで日本の名歌手たちが集い、イタリア生まれながらフランス・オペラにも出演が多い大歌手コロンバラーが国王役で華を添えるという豪華な顔ぶれ。フランスものに通じた最右翼の指揮者、佐藤正浩が彼らを支え、牽引する。この公演で、言葉の壁を乗り越えて最高傑作を世に送ったヴェルディの「凄み」を体感してみよう。

文：岸 純信(オペラ研究者)

海外オーケストラシリーズII モントリオール交響楽団

壮麗な音の饗宴ふたたび！ 泡立ちクリームのようなドビュッシー

カナダの名門モントリオール交響楽団が、音楽監督ケント・ナガノとともに、6年半ぶりに来日する。色彩的で豊麗な音色のすばらしさでは世界でも一、二を争う存在、と定評のあるオーケストラだ。その聴きどころは？

モントリオール交響楽団は、以前からズービン・メータやシャルル・デュワらのもとで、世界有数のオケとして知られてきた。特にデュワの音楽監督在任時代(1978~2002年)にはたくさんのディスクや何度かの来日を通じて、わが国でも大変な人気を得ていたものであった。

このモントリオール響の音楽監督を、2006年に引き継いだのが、我々の日系指揮者ケント・ナガノである。リヨン国立歌劇場音楽監督、ハレ管弦楽団音楽監督、ベルリン・ドイツ響芸術監督、バイエルン州立歌劇場音楽総監督などを歴任した世界屈指の名指揮者だ。

「私が最も大きな影響を受けた指揮者は、小澤征爾さんです」と、ケントは語ったことがあった。「小澤さんは、私たち日系米国人にとって重要な存在でした。私が少年の頃、テレビで小澤さんがサンフランシスコ交響楽団を指揮しているのを見た祖母が、『誇りに思いなさい、日本人がアメリカのオーケストラを率いているのよ！これがどんなに例のない素晴らしいことか、よく見ておきなさい』と言ったのです」。それは、第2次世界大戦で苦勞した体験を持つ在米日系人たちの、偽らざる心境であつたらう。

その後ケントは、小澤征爾とサンフランシスコ

響のリハーサルを、ホールの裏口からもぐりこんで聴いたりして、指揮者への道を踏み出した。そして、「ボストン交響楽団では小澤さんのアシスタントを務めました。小澤さんは、指揮について私に詳しく教えて下さったのです」。

ケント・ナガノは、すでにモントリオール響とベートーヴェン、ブルックナー、マーラーなどの交響曲のディスクをリリースしている。2008年4月には、この新しいコンビによる初めての来日公演を行なった。

その時の演奏を、実際にお聴きになった方も多いただろう。特にドビュッシーの『牧神の午後への前奏曲』や交響詩『海』、ベルリオズの『幻想交響曲』、ラヴェルの『ボレロ』など、フランスの作品における音色の壮麗さ、響きのふくよかさは、なんと素晴らしかったことか。『海』での、弦と木管が囁き交わす個所など、まるでふんわりと泡だったクリームがあふれ出すような雰囲気を感じさせていた。ケントは、デュワの時代に創られたプリリアントな響きを残しつつ、更にその上に彼独自の瑞々しい柔らかい音色を植えつけ、このオーケストラを完全に自己のものにしていたのであった。

あれから6年、このコンビは、ますます快調な進撃を続けている。両者の呼吸も、更に完



ケント・ナガノ



五嶋 龍

壁な状態に達しているだろう。今年3月に行われた大規模な欧州ツアーも成功裡に結ばれたということだ。今秋の来日公演の曲目にも、あの『海』が入っているのがうれしい。そして、フランスの大作曲家ラヴェルが彼の流儀で色彩的に編曲したムソルグスキーの『展覧会の絵』も含まれる。これらは、来日直前のモントリオールでの9月定期のプログラムにも入っているので、私たちはその「完成された」演奏が聴けるに違いない。それに加え、素晴らしい若手・五嶋龍が弾くストラヴィンスキーの「ヴァイオリン協奏曲」がある。鮮烈な演奏が聴けるだろう。

文：東条碩夫(音楽評論)
※ケント・ナガノのコメントは、筆者のインタビューによる



モントリオール交響楽団

海外オーケストラシリーズ I・II・III

フランス国立リヨン管弦楽団
7月19日(土) 15:00開演 コンサートホール
指揮：レナード・スラットキン
ピアノ：小菅 優
管弦楽：フランス国立リヨン管弦楽団
ラヴェル／組曲『マ・メール・ロワ』
ピアノ協奏曲ト長調
サン＝サーンス／交響曲第3番 op.78「オルガン付き」
S席12,000円 A席8,000円 B席6,000円
C席5,000円 D席3,000円 ※SS席14,000円



レナード・スラットキン



小菅 優

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)／豊島区
助成：平成26年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

モントリオール交響楽団
10月10日(金) 19:00開演 コンサートホール
指揮：ケント・ナガノ
ヴァイオリン：五嶋 龍
管弦楽：モントリオール交響楽団
ドビュッシー／交響詩『海』
ストラヴィンスキー／ヴァイオリン協奏曲 二調
ムソルグスキー(ラヴェル編曲)／組曲『展覧会の絵』
S席18,000円 A席13,000円 B席9,000円
C席5,000円 D席3,000円 ※SS席22,000円

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

フィルハーモニア管弦楽団
2015年 3月 7日(土) 14:00開演 コンサートホール
指揮：エサペッカ・サロネン
ヴァイオリン：ヒラリー・ハーン
管弦楽：フィルハーモニア管弦楽団
シベリウス／交響詩『トゥオネラの白鳥』
ブラームス／ヴァイオリン協奏曲
ベートーヴェン／交響曲第3番 変ホ長調『英雄』
S席19,000円 A席15,000円 B席11,000円
C席7,000円 D席4,000円 ※SS席22,000円
発売日：10月7日(火)



エサペッカ・サロネン



ヒラリー・ハーン

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

東京芸術劇場コンサートオペラvol.2
G.ヴェルディ 歌劇『ドン・カルロス』
9月6日(土) 15:00開演 コンサートホール
指揮：佐藤正浩
管弦楽：ザ・オペラ・バンド
(在京プロオケメンバーで結成)
コーラス：武蔵野音楽大学(合唱指揮：横山修司)

主催：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
助成：平成26年度 文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業



佐藤 正浩 (指揮)

佐野 成宏 (ドン・カルロス)

浜田 理恵 (エリザベート)

カルロ・コロンバラー (フィリップ2世)

堀内 康雄 (ロドリーク)

小山 由美 (エポリ公女)

妻屋 秀和 (宗教裁判長)

ジョン・ハオ (修道士)

鷲尾 麻衣 (ティボー)

佐藤 美枝子 (天の声)

ジョルジュ・ゴージェ (レルマ伯爵)

詳細はP13へ

東京芸術劇場Presents **ブラスウィーク2014**

9月21日(日)15:00開演 シエナ・ウインド・オーケストラ・28日(日)14:00開演 東京佼成ウインドオーケストラ・10月18日(土)14:00開演 東京吹奏楽団 コンサートホール

ファン必聴!吹奏楽の勇者たちが池袋に集結

新しいアイデアも楽しいシエナに注目

ハワフルなリズムや豊かなハーモニー、カラフルな音色によるアンサンブルやそのなかから浮かび上がるソロ。多彩な魅力をもつ吹奏楽は、クオリティの高い作品と音楽愛にあふれた演奏によってさらに感動を呼ぶ。吹奏楽リスナーや楽器を手にするファンたちに「プラスってやっぱりいいよね!」とアピールする『ブラスウィーク』は、吹奏楽シーンにおけるスター楽団のコンサートで作品の素晴らしさを再認識。さらには楽器クリニックなども行われ、吹奏楽を広く深く楽しめる秋の注目シリーズだ。

今年の幕開けは、コンサートでなにかが起ころいそうなる予感を漂わせるシエナ・ウインド・オーケストラの定期演奏会。音楽を楽しく、そしてサプライズなアレンジで聴かせてくれる宮川彬良が指揮台に登場し、自作品から、ミュージカル、吹奏楽の定番曲までじっくりと聴かせてくれる。共演も多い両者ならではの、冒険的な演奏を期待できるかもしれない。またこのコンサートでは業界初?となる「投げ銭コンサート」実施に向けて大実験を企画中とのこと。内容は当日までのお楽しみだそうだ。

充実したサウンドの2団体が名演を披露

その1週間後に登場するのは、こちらも吹奏楽シーンの雄である東京佼成ウインドオーケストラ。記念すべき第120回の定期演奏会は、常任指揮者・首席客演指揮者を歴任したおなじみのダグラス・ボストックが指揮台へ上がり、このコンビだからこそ素晴らしい演奏が聴けるイギリスの吹奏楽オリジナル作品集(グレインジャー、グレッグスン、スパークほか名作ぞろい)を取り上げる。また今年はこの楽団と関係が深く、世界中の吹奏楽ファンに愛されたフレデリック・フェネルの生誕100年・没後10年。マエストロの偉業をあらためて振り返りつつ、多くのコンサートや録音で演奏してきたオリジナル作品を、じっくりと味わえるチャンスだ。

10月に入ってステージに登場するのは、2013年に記念すべき創設50年を迎えた東京吹奏楽団。指揮台に登場するのは今年から東京佼成ウインドオーケストラの正指揮者となり、吹奏楽シーンへと活躍の場を広げている大井剛史だ。コンサートの前半は吹奏楽ならではの音色とアンサンブル、繊細なテクスチュアなどが楽しめるJ.S.バッハの作品。そして後半

は名曲『ブラハのための音楽1968』をはじめ、カレル・フサとヴァーツラフ・ネリベルというチェコの2大巨頭が生み出したオリジナル作品を演奏する。新時代を迎えた東吹(とうすい)をたっぷりと味わえるプログラムなのだ。

3つの楽団それぞれが特徴のあるプログラムを演奏するため、日本で最高級の吹奏楽を味わえ、同じ東京芸術劇場のホールであるため比較をする楽しみも。まさに『ブラスウィーク』ならではの楽しみ方ができるだろう。

無料コンサートやクリニックも

また「今年『ブラスウィーク』に出演しないの?」という声も上がりそうな大阪市音楽団は、「ティータイム・コンサート」にアンサンブル編成で登場予定。およそ30分の無料コンサートだが、開放的なコンサートホールのエントランス(ロビー)で行われるため、誰もが気軽に演奏を楽しめる。大阪市音楽団ファンは、もちろん必聴だろう。ほかにも中学生・高校生を対象としたプロ演奏家によるクリニック、そして宮川彬良指揮によるホールでの演奏なども。すべてが吹奏楽で染まる『ブラスウィーク』は、今年もアツい祭典になること間違いなしだ。

文：オヤマダアツシ

<p>シエナ・ウインド・オーケストラ 第38回定期演奏会 9月21日(日) 15:00開演 コンサートホール 指揮:宮川彬良 吹奏楽:シエナ・ウインド・オーケストラ A.リード/アルメニアン・ダンス パートI ほか SS席5,500円 S席4,500円 A席3,500円 B席2,500円 ※学生はB席500円引き チケット発売中 主催:一般社団法人ジャパン・シンフォニック・ウインズ 詳細はP14へ 宮川彬良</p>	
<p>東京佼成ウインドオーケストラ 第120回定期演奏会 9月28日(日) 14:00開演 コンサートホール 指揮:ダグラス・ボストック 吹奏楽:東京佼成ウインドオーケストラ P.スパーク/宇宙の音楽 ほか S席6,000円 A席4,500円 B席3,500円 C席1,000円 チケット7月9日(水)発売 主催:佼成文化協会/東京佼成ウインドオーケストラ 詳細はP14へ ダグラス・ボストック</p>	
<p>東京吹奏楽団 第61回定期演奏会 10月18日(土) 14:00開演 コンサートホール ウェルカムコンサート、プレトークあり 指揮:大井剛史 吹奏楽:東京吹奏楽団 K.フサ/ブラハのための音楽1968 ほか S席5,000円 A席4,000円 B席2,000円 ※B席高校生割引1,000円 チケット発売中 主催:一般社団法人東京吹奏楽団</p>	

●ブラスウィーク2014 3公演S席セット券 12,500円(限定50枚) チケット:7月8日(火)発売 お申込先:東京芸術劇場ボックスオフィス TEL 0570-010-296 [休館日を除く10:00-19:00]

助成:平成26年度 文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業

世界のマエストロシリーズ vol.2 **ラドミル・エリシュカ&読売日本交響楽団**

10月30日(木)19:00開演 コンサートホール

遅咲きの巨匠による極めつけの〈新世界〉

ことし3月、「音楽大学フェスティバル・オーケストラ」を指揮して『新世界交響曲』の感動的な演奏を聴かせてくれたチェコの名匠ラドミル・エリシュカが、この秋、早くも東京芸術劇場の指揮台に帰ってくる。

「世界のマエストロシリーズ vol.2」で、いま絶好調の読売日本交響楽団を指揮するエリシュカは、1931年生まれ83歳。若い頃から日本を訪れ、80代、90代になっても現役として活躍する指揮者は少なくないが、エリシュカの場合は初来日が2004年と遅く、しかもその当時はほとんど無名の存在だった。

チェコ東部の町ブルノのヤナーチェク芸術アカデミーで、ヤナーチェクの高弟だった指揮者で作曲家のブジエチスラフ・バカラから指揮を学んだエリシュカは、『新世界交響曲』のヨーロッパ初演を行った歴史あるオーケストラ、カルロヴィヴァリ交響楽団の音楽監督を1969年から21年間の長きにわたってつとめた(カルロヴィヴァリはベートーヴェンやショパンも滞在したチェコ西部の温泉保養地)。エリシュカは、ノイマンやコシュラー、ピエロフラーヴェックといった、同時代のチェコ出身の指揮者にまったくひけをとらない実力の持ち主でありながら、共産党の支配下にあった国営エージェントの方針で活動の場が

チェコ国内や東欧、ソ連にほぼ限られていたために、その実力や音楽性が西側で認められることはまったくなかった。

加えて、1989年秋の「ピロード革命」と呼ばれる民主化に際しては、チェコ国内のオーケストラで自国人の指揮者を排斥する動きが巻き起こり、共産党とかかわりを持たなかったエリシュカのような指揮者までもがポストを追われてしまう。以来、エリシュカはフリーランスとして指揮活動が続ける一方、名門ブラハ音楽アカデミーの指揮科主任教授として、ヤクブ・フルシャやトーマシュ・ネトビルなど数々の俊英を育ててきたのである。

2004年の初来日に続いて、2006年12月には札幌交響楽団と大阪センチュリー交響楽団の定期演奏会に客演したが、このとき札幌では初日の演奏が大評判となり、翌日の公演には当日券を求める人が殺到して全席完売する、という“レジェンド”を作った。2008年4月に同団史上初のタイトルとなる首席客演指揮者に就任してからは、毎年2回は日本を訪れ、札幌だけでなく、東京都響、NHK響、東京フィル、大阪フィル、九州響など日本各地のオーケストラとの共演を着実に重ねている。とりわけ2009年2月に、スメタナの『わが祖国』全曲でN響定期に初客演した際の圧倒的な名演はいまでも語りぐさとなり、同年の「最も心に残ったN響ベストコンサート」第1位に選出されたこともあって、遅咲きの巨匠だったエリシュカの日本国内における評価と知名度は、一気に高まったのだ。

今回の読売日響との初共演では、ドヴォルザークの『新世界交響曲』が再び取り上げられる。私が声を大にして言いたいのは、「もう



写真左上より ラドミル・エリシュカ、河村尚子、読売日本交響楽団

『新世界』なんて聴き飽きたなあ」という音楽通の人にこそ、エリシュカのタクトでこの偉大な作品を聴いてほしいということだ。チェコ音楽のスペシャリストであり、チェコドヴォルザーク協会の会長を長らくつとめたエリシュカの指揮する『新世界』は、まさに巨匠の“名人芸”というべきもの。これまで私たちが聴いてきた『新世界』はいったい何だったのだろう、と思わせるほどの新鮮な発見と感動に満ちており、よく知る名曲だからこそ、エリシュカの凄さをはつきりと実感できるはずだ。

さらに楽しみなのが、若手ナンバーワンの呼び声高いピアニスト、河村尚子との初共演である。マエストロの創り上げる響きからは、いまや多くの演奏家が失ってしまった人間的な温もりと音楽への愛が感じられるが、河村はエリシュカのような真の芸術家に共感できる“こころ”の持ち主であるだけに、モーツァルトの珠玉の協奏曲は、私たちを至福のひとつに誘ってくれるに違いない。

エリシュカと読売日響の初顔合わせとなるこのコンサートに足を運んで、極めつけの『新世界』を共に味わおうではないか。

文：若野裕一 (編集者・音楽ジャーナリスト)

世界のマエストロシリーズvol.2 **ラドミル・エリシュカ & 読売日本交響楽団**
10月30日(木)19:00開演 コンサートホール

指揮:ラドミル・エリシュカ
ピアノ:河村尚子
管弦楽:読売日本交響楽団
スメタナ/歌劇「売られた花嫁」序曲
モーツァルト/ピアノ協奏曲第21番ハ長調 K.467
ドヴォルザーク/交響曲第9番ホ短調 Op.95
「新世界より」

S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円
C席3,000円 D席2,000円
お申込先:東京芸術劇場ボックスオフィス
TEL 0570-010-296 [休館日を除く10:00-19:00]

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/豊島区
事業提携:読売日本交響楽団
協力:東武鉄道株式会社
助成:平成26年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

芸劇dance「睡眠-Sleep-」世界初演

勅使川原三郎が描き出す眠りと覚醒の“あわい”

久々にビッグネームの取り合わせだ。バレエの名花オーレリー・デュボンと、世界の第一線で活躍する勅使川原三郎の初共演が実現する。目も覚めるような新作のタイトルは『睡眠-Sleep-』。演出、振付の勅使川原に話を聞いた。



これはバレエファンとダンスファン、共に待望の舞台である。バレエの最高峰、パリ・オペラ座バレエ団のエトワールであるオーレリー・デュボンが、世界的に活躍する振付家・ダンサーの勅使川原三郎が主宰するダンスカンパニーKARAS作品に登場するのだ。勅使川原は同バレエ団に作品を委嘱された唯一の日本人振付家だが、昨年にはなんと2作目となる『闇は黒い馬を隠す』を振り付けた。デュボンはこの作品にも出演しており、両者のコミュニケーションもバッチリである。今回の新作『睡眠-Sleep-』について、演出、振付の勅使川原に話を聞いた。

「オーレリーとは『闇は〜』のクリエイションの前に、たっぷり一ヶ月間かけてワークショップをやりました。私のメソッドはクラシック・バレエはもちろん、コンテンポラリー・ダンスといわれるものとも違います。たいていのダンスは『様々な磨き抜かれた動きを構成していくもの』といえますが、私のダンスは様々な要素を溶かし、かつ絶えず新しく生まれ続ける動きを見つけていくようなダンスです。カウントも取らないし、身体のコントロールもあえて完璧にはせず、固定した振付の再現でもない。即興というよりも、生物学でいう『自発的再構成(スポンテニアス・リオーガナイゼーション)』に近いものです。オーレリーは『闇は〜』を通して、私のメソッドを深く理解してく

れています」

パリ・オペラ座バレエ団の来日演目は、ほとんどがクラシック・バレエ作品だ。しかし同団は世界でも屈指のコンテンポラリー作品をレパートリーに持っているバレエ団なのである。今回の作品は、「デュボンがコンテンポラリー作品を日本で踊る、初めての機会」であり、そういう意味でも見逃せない。デュボンは先だってオペラ座来日公演で多くのクラシックバレエの観客を魅了したが、今回は彼女の未知の領域までもを楽しめそうだ。

さて、気になる作品のタイトルは『睡眠-Sleep-』である。ダンスという「身体を使う芸術」で「睡眠」がテーマとは、なかなか挑戦的ではないか。勅使川原は言う。「覚醒と睡眠は、同じ身体の違った位相に過ぎませんが、その境目がとても重要です。オブジェクティブ(「物質的」と同時に「客観的」という意味もある)なものを持っていく感覚と、その瞬間を逃さないようにしていきたい。『夢にしがみつこうように眠りこける』と書いたりするブルーノ・シュルツ(ポーランドの作家。勅使川原は連続して舞踊作品化している)の小説や、夢を書き留めていたという明

恵上人(12世紀の禅僧)の言葉を見ると、言語化することで、埋没しそうな物があらためて捉えられ深まっていくことがわかる。それをダンスでやってみるつもりです」

デュボンと勅使川原はもちろん、いまや彼の作品に欠かせないダンサーとなった佐東利穂子も出演する。また鰐川枝里等の若手メンバーも、このところ成長が著しい。「オーレリーの豊かな踊りと、質感を自在に変えられる佐東のダンスのデュオもぜひ創りたいですね。この二人はともに『強さ』と『かわさ』を持っているんですが、それぞれタイプが違う。どうなるか、いまから楽しみです」

さらに勅使川原の舞台では、常に高く評価される照明や音楽、美術も楽しみだ。最高のダンサーたちとどのような舞台世界が実現するのか、刮目して待ちたい。

文: 越越たかお(作家・ヤサグレ舞踊評論家)

「睡眠-Sleep-」勅使川原三郎 新作公演

8月14日(木)~17日(日) プレイハウス
 構成・振付・美術・照明:勅使川原三郎
 出演:オーレリー・デュボン 佐東利穂子 勅使川原三郎 ほか
 8月21日(木)愛知県芸術劇場大ホール
 8月23日(土)兵庫県立芸術文化センター-KOBELCO大ホール
主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
 助成:平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
 共同制作:東京芸術劇場/愛知県芸術文化センター/愛知県芸術劇場/兵庫県立芸術文化センター/KARAS



勅使川原三郎
 Saburo Teshigahara
 ダンサー、演出家、振付家。1985年以降、自身のカンパニーKARASと共に世界中で公演を行い、その独自のダンスメソッドと独創的な作品は世界のアートシーンから高い評価を受けている。自身の作品にとどまらず、パリ・オペラ座バレエ団をはじめ欧州の主要バレエ団への振付や、ヴェニス・フェニーチェ歌劇場他へのオペラ演出も手掛ける。



オーレリー・デュボン
 Aurélie Dupont
 パリ・オペラ座バレエ団エトワール。15年来エトワールとして、同バレエ団の作品で、多くの観客を魅了し続けてきた。そのレパートリーは古典からコンテンポラリーまで幅広く、2013年秋の勅使川原三郎振付による同公演「闇は黒い馬を隠す」では、圧倒的な感動をもたらした。2014-15年シーズン「マン」でパリ・オペラ座バレエ団引退を予定。

詳細はP11へ

「小指の思い出」

野田さんの言葉を演出する準備をしていました。

演出・藤田貴大インタビュー

昨夏に作・演出した『cocoon』で一躍、その名を広めた藤田貴大。弱冠29歳で野田秀樹の80年代の傑作戯曲を演出し、プレイハウスに進出する。だが毎月のように作品を発表し、動くほどエネルギーを蓄える演劇モンスターは、それを「挑戦ではない」と言う。



演出家・藤田貴大

『小指の思い出』は青春もの

刺激的な若い才能が集まっている近年の演劇界の中でも、とりわけ目覚ましい躍進を続けている。この1年弱で、作家の川上未映子、歌人の穂村弘、漫画家の今日マチ子、ミュージシャンの原田郁子など、多ジャンルの一流クリエイターと次々に共作。驚きのスピード、量、質で演劇の領域を広げる。それが可能なのは、相手の作品の骨格を瞬で把握するこの人の能力が、まず大きい。その力で、1983年に夢の遊眠社で上演され、性の越境、飛翔、言葉遊びなど、野田秀樹戯曲の初期の特色が詰まった『小指の思い出』を、青春ものと看破する。

「女性が少年を演じたり、誕生日が大切なモチーフになっていたり、ティーンな感じがすごくする。遊眠社時代の作品ということも含め、野田さんの作品の中では突出して青春もので、マームとジブシー(藤田が主宰する劇団)との共通点を感じます。ただ僕は、自分の作品を単なる青春ものという言葉で片付けてほしくないし、同様に『小指〜』にもそういう部分を感じていて、マームの作品をつくる時と同じモラルで、この作品の青春と向き合っていくと思います」

公演情報が解禁になった途端、大きな話題を集めているのがキャストिंगだが、注目

されるポイントは2つ。ひとつは、勝地涼や松重豊、山中崇ら映像でも幅広く活躍する俳優が、初めて藤田演出と出会うこと。「勝地君達を指して、商業的な俳優とは言われたくないんです。ポスター撮影で役者さんが並んだ時に、全体として雰囲気すごく揃っていて、女子受けという意味じゃなく格好よかった。商業的な舞台とそうじゃない舞台の垣根があって、それを無くすことも今回課せられていると思うんですけど、僕がこれまでずっと、やってきたことの地続きにこの企画があると考えているので、そこはまったく心配していません」

もうひとつは、劇作家、演出家、美術家である鮎屋水が俳優として参加、藤田の信頼が厚い青柳いつみとふたりで、かつて野田がひとり二役で演じた人物を演じること。「鮎屋さんとは2012年に一緒に作品をつくっていて(『マームと誰かさん』)、車にはねられる男を演じてもらいました。その作品で青柳は、歩道橋の上からそれを目撃する女子高生役で。芝居の方から“野田さんの戯曲を演出するとしたら?”と聞かれた時に『小指〜』と即答したのは、その創作中に『小指〜』の当たり屋のシーンを思い出したこと、ある人間の生まれ変わる前と生まれ変わった後を、鮎屋さんと青柳にやってもらうことに意味を感じたということも大きいです」

人の言葉、大きな空間を演出するために

言葉のキレは鋭いが、長期的な視線で仕事に取り組む慎重さも持ち合わせる。『小指〜』で初めて自分以外の劇作家が書いた戯曲を演出する準備を、着々と進めていた。「意外と思われるかもしれませんが、僕、上の世代の皆さんをリスペクトしていて、野田さんの戯曲をいじるつもりはないし、演出だけを専門にしている新劇系の演出家さんの仕事もすごいと思う。最近続けざまに未映子さんや穂村さんの言葉を扱ったのは、人の言葉を演出することを、短期間で上手くならないといけなかったから。“週刊マームとジブシー”ぐらいの勢いで作品をつくり続けていたのは、失敗したくない仕事がある時に、家にもって考えるより、たとえ傷付いても人に見せて成長したい。プレイハウスという大きな空間を若い演出家が見えることを、ちゃんと証明したいんです」

取材・文:徳永京子

「小指の思い出」

作:野田秀樹 演出:藤田貴大
 9月29日(月)~10月13日(月・祝) プレイハウス
 出演:勝地涼 鮎屋水 青柳いつみ 山崎ルキノ 川崎ゆり子
 伊東茄那 小泉まき 石井亮介 斎藤章子 中島広隆 / 宮崎吐夢 山内健司 山中崇 / 松重豊
 料金:S席 5,500円 A席 4,500円 ほか[全席指定・税込]
 チケット一般発売:7月26日(土)
主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
 東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
 助成:平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

詳細はP14へ

＜野田秀樹作品セット券＞

「小指の思い出」と「半神」のお得なセット券を一般発売に先がけて先行販売いたします。
 料金:9,000円(1名様分)
 (全席指定・税込・S席・枚数限定・前売のみ)
 セット券発売開始:7月19日(土)
 取扱い:東京芸術劇場ボックスオフィス

東京芸術劇場×明洞芸術劇場 国際共同制作 韓国公演あり詳細はP19へ
「半神」東京公演
 原作・脚本:萩尾望都 脚本・演出:野田秀樹
 10月24日(金)~10月31日(金)プレイハウス
 料金:S席 5,000円 A席 4,000円
 S席ペア券 8,500円/2枚 ほか[全席指定・税込]
 チケット一般発売:8月2日(土)
東京公演 主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
 東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
 共催:明洞芸術劇場/独立行政法人国際交流基金 企画協力:NODA-MAP 株式会社小学館

ハイバイ「おとこたち」

7月3日(木)～13日(日) シアターイースト 詳細はP9へ



作・演出:岩井秀人
出演:安藤 聖、岩井秀人、岡部たかし、菅原永二、永井若葉、平原テツ、川松 亮

主催:ハイバイ/quinada 助成:文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業) 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

岩井秀人が手掛ける、男たちの大河ドラマ?!

2003年に旗揚げした劇団ハイバイ。10代後半ひきこもりだったという主宰の岩井秀人が、個人的な体験を濾過して人生の悲喜劇に転換、ペースに満ちた作品群が観客の心を揺さぶる。劇作家で演出家、俳優でもある彼は、映画、テレビドラマ、バラエティ番組、CMなどの出演歴も。

2012年にNHK-BSプレミアムドラマ『生むと生まれるそれからのこと』で向田邦子賞、翌年『ある女』で岸田國士戯曲賞を受賞。岩松了

や平田オリザらに影響を受けながらも、独創性に満ちた作劇を続ける。

2年ぶりの新作は、性欲期から死期までの男たちを描く大河ドラマ?! 家族間の軋轢、葛藤、確執、トラウマを描き、痛みを伴う笑いの中にままたまらない人生の奥深さを見せるハイバイ。今のままでいたいと思いつつ経年変化には抗えない、人間が背負う業ともいえるべきテーマに挑む。岩井が作品について語り尽くすスペシャルトークもお見逃しなく!

芸劇eyes はえぎわ「ハエのように舞い 牛は笑う」

8月23日(土)～31日(日) シアターイースト 詳細はP12へ



第26回公演「ガラバコソバコソ ～進化してんのかしてないのか」
作・演出:ノゾエ征爾
出演:井内ミワク、町田水城、鈴真紀史、滝 寛式、竹口龍茶、踊り子あり、川上友里、島島 明、富川一人、山口航太、ノゾエ征爾、笠木 泉、上村 聡(遊園地再生事業団)、河井克夫、橋 花梨

主催:はえぎわ 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

結成15年、ノゾエ征爾が見せる新境地

主宰のノゾエ征爾が大学在学中の1999年に始動、今年15年となる劇団はえぎわ。全作品の作・演出を手掛けるノゾエは、2011年に『春々』で岸田國士戯曲賞最終候補ノミネート、翌年『〇〇トアル風景』で同賞受賞という快挙を達成した。俳優としても活躍し、数々の舞台、映画、テレビドラマ、CMに出演。寄席の楽屋を描き、2013年に公開された神田裕司監督の映画『TOKYOでやんでい』では堂々と主演を務めている。

オリジナリティに富んだ物語、センスのいい笑いと巧みな演出で立ち上がるノゾエワールドが観客を魅了。人間という可笑しくも悲しい存在を独自の視点で捉え、ユーモアを折り込みながら綴る。「チョークと描ける壁があればできる演劇」で新境地に達したというが、15年の重みを軽々と飛び越えるだろう新作に期待がふくらむばかり。元SAKEROCKのベースト、現在はショピン等のメンバーとしても活動する田中馨の生演奏も楽しみだ。

主催:はえぎわ 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸劇dance BATIK「落ち合っている」

9月4日(木)～7日(日) シアターイースト 詳細はP13へ



ソロ作品「落ち合っている」(2014年3月)

構成・振付:黒田育世
出演:伊佐千明、大江麻美子、寺西理恵、中津留絢香、矢嶋久美子、黒田育世

※キャスト日替り、詳細はBATIK HP(<http://batik.jp/>)にて

主催:BATIK 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

父の死と娘の誕生がもたらした“生き抜く力”

2002年の結成から12年、国内外の公演で評価が高まるBATIKは、振付家でダンサーの黒田育世率いる女性だけのダンスカンパニー。トヨタコレオグラフィアワード:次代を担う振付家賞、朝日舞台芸術賞、舞踊批評家協会賞など数々の受賞歴を誇る黒田は、コンテンポラリーダンスシーンを牽引するフロントランナーのひとり。NODA・MAP作品への振付、中島哲也監督の『告白』出演など、ダンスの枠に留まらず、演劇や映画などジャンルを

軽やかに越境した活動を展開中だ。

昨年父を亡くし、娘を出産した黒田。ふたりはあたかも彼女の中で「落ち合っていた」のかもしれないと感じたという。死ぬ準備として創り始めた前作『おたる鳥をよぶ準備』を経て、今回のテーマは“生き抜く力”と“踏みとどまること”。脈々と受け継がれるいのちの営みを、今この瞬間を生き抜き、ここに踏みとどまるダンサーの躍動する身体を通して、ヴィヴィッドに見せてくれるはずだ。

主催:BATIK 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

eyes plus サンプル「ファーム」

9月19日(金)～28日(日) シアターウエスト 詳細はP14へ



「シフト」

作・演出:松井周
出演:古屋隆太、奥田洋平、野津あおい、羽場睦子、金子岳憲、町田マリー

主催:サンプル/quinada 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 助成:芸術文化振興基金

松井周が放つ1年ぶりの新作に町田マリーが登場

離婚に向け、話し合いを重ねる夫婦。息子もいて、この先なにをモデルに生きていくべきだろうかと途方に暮れる彼らは、人を、モノを、物語を疑い、その間を彷徨う……。

3月にシアターイーストで旗揚げ公演『シフト』の再演を成功させたばかりの劇団サンプルが、今度はシアターウエストに登場。旧作2本の再演を経て、1年ぶりとなる待望の新作を発表する。劇団青年団所属でサンプル主宰の松井周は、気鋭の劇作家で演出家。2年続けて岸田

國士戯曲賞ノミネート、3年目に『自慢の息子』で受賞という、確かな実力の持ち主だ。今回はある家族の物語を軸に、新たに生まれる生命と共有される精神、ヒト、モノ、イキモノのこれまでとこれからを描く。

劇団毛皮族の旗揚げメンバーにして看板女優、町田マリーがサンプル初出演。舞台上に留まらず映画やドラマに活躍の場を広げ、いっそう輝きを増している町田が松井の演出にどう応えるのか、期待して劇場へ。

二兎社公演 39「鷗外の怪談」

10月2日(木)～26日(日) シアターウエスト 詳細は劇場HPへ



作・演出:永井愛
出演:金田明夫、水崎綾女、内田朝陽、佐藤祐基、高柳絢子、大方斐紗子、若松武史

明治の文豪・森鷗外。その秘められた内面とは?

舞台は明治末期。政府が思想や言論の弾圧を推し進める中、文学者として表現の自由を尊重する森鷗外は、一方で陸軍軍医総監・森林太郎として国家権力側の要職にあった……。

国歌斉唱、シングルマザー、官僚主義など現代の問題点をユーモラスに、また痛烈に風刺した作品に定評がある二兎社の新作。主宰で劇作家・演出家の永井愛は、個人や家族の日常を描きながら社会問題を丁寧に掬い上げる。観

た後しばらく心のどこかに留まり、余韻を残す作風が印象的だ。

2年ぶりの書き下ろしとなる今回は、明治の一大謀略事件「大逆事件」を背景に、森鷗外のミステリアスな内面に迫る。表現者と軍職者、相反する2つの顔を持ち葛藤や矛盾を抱えていたに違いない文豪の数奇な運命。また、近代日本という時代を永井がどう描くのか、大いに注目を。

料金:一般=5,600円/25歳以下=3,000円(枚数限定・要証明書提示)/中高生=1,000円(枚数限定・要学生証提示)
チケット発売:8月9日(土) ふれいす 03-5468-8113

主催:二兎社 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

eyes plus 富士山アネット/Manos.「醜い男」

9月5日(金)～16日(火) アトリエイースト 詳細はP15へ

鋭い空間演出が映し出す、戯曲に潜む「美」



主催:富士山アネット 提携:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 助成:芸術文化振興基金

「ダンス的演劇(テアター・タンツ)」を標榜し、独自の舞台を提示してきた富士山アネット。演劇に特化したユニット、富士山アネット/Manos.として挑むのは、30カ国以上で上演されている、ドイツ現代作家による『醜い男』。ブラックユーモアにまみれた現代の鏡の様な本作に、見えない「美」を映し出す。

原作:マリウス・フォン・マイエンブルク
翻訳:林立騎 構成・演出・振付:長谷川寧
出演:板倉チヒロ(クロムモリブデン)、中林 舞、大原研二(DULL-COLORED POP)、福原 冠

「ポリグラフ ―嘘発見器―」

10月19日(日)～11月2日(日) シアターイースト 詳細は劇場HPへ

ルパーージュ初期代表作の吹越演出版、待望の再演



構想・脚本:マリー・ブラッサール、ロベール・ルパーージュ

翻訳:松岡和子
演出:吹越 満
出演:森山開次、太田 絳、ロランス、吹越 満
お得な早割(枚数限定)7月13日(日)より発売
一般発売 8月3日(日)
*東京公演に先駆けて7月、11月からは、広島、札幌公演も。

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
助成:平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
著作権代理:(株)フランス著作権事務所

2012年、吹越満による新演出で上演され、視覚的に強いインパクトのある斬新な舞台が高い評価を得た。熱い再演希望の声に応えて、今秋、パリ公演を皮切りに同じキャストによる上演が遂に実現! 男女3人の人間関係のミステリアスな展開を「身体」と「視覚」のトリックで描き、観客を美しい“迷宮”へと誘う。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
Concert Hall		A	B	C		休	D	E	F	G	H	I	J	K		L	M	N	O	P		Q		R	S		休	T				
Playhouse									A																							
Theatre East							A												B													
Theatre West				A					B								C												D			E

Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)/ソプラノ(Sop)/メゾソプラノ(M.Sop)/アルト(Alt)/テノール(Ten)/バリトン(Bar)/バス(Bass)/コーラス(Chor)/フルート(Fl)/オーボエ(Ob)/クラリネット(Cl)/

A 4日(金) 19:00開演 BOX

国立音楽大学 第55回 brassオルケスター定期演奏会

出演 フランソワ・ブーランジェ (Cond) / 武田忠善 (Cl) / 国立音楽大学 brassオルケスター

曲目 プロコフィエフ/ロメオとジュリエット組曲
ヴェルティ(パツ編)「リゴレット」の主題による演奏会用幻想曲
ブートリー/生きる喜び ホルスト/組曲「惑星」より木星
レスピーギ/ローマの松

料金 S:1,500円/A:1,000円/学生:500円
TEL 国立音楽大学演奏課 042-535-9535

B 5日(土) 14:30開演 BOX

東京ニューシティ管弦楽団 第94回定期演奏会

出演 秋山和慶 (Cond) / 松木さや (Fl) / 東京ニューシティ管弦楽団

曲目 ブーランク/組曲「牝鹿」 イベール/フルート協奏曲
サン＝サーンス/交響曲第3番「オルガン付き」

料金 S:6,000円/A:4,500円/B:3,000円/C:2,000円
TEL 東京ニューシティ管弦楽団事務局 03-5933-3266

C 6日(日) 14:00開演 BOX

新交響楽団 第226回演奏会

出演 飯守泰次郎 (Cond) / 新交響楽団

曲目 ワーグナー/ワルキューレの騎行、
夜明けとジークフリートのラインへの旅
ブルックナー/交響曲第6番

料金 S:3,000円/A:2,500円/B:1,500円
TEL コンサートイマジン 03-3235-3777

D 8日(火) 19:00開演 BOX

第9回読響メトロポリタン・シリーズ

出演 ハルトムート・ヘンヒェン (Cond) / 読売日本交響楽団

曲目 プラムス/悲劇的序曲 シューベルト/交響曲第7番「未完成」
プラームス/交響曲第1番

料金 S:7,200円/A:5,100円/B:4,100円/C:3,000円
TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

Playhouse

A 5日(土)～8月3日(日) BOX

カッコウの巣の上で

上演台本**演出** 河原雅彦 **原作** ケン・キージー **脚本** テール・ワッサーマン **出演** 小栗 旬 / 神野三鈴 / 武田真治 / 大東駿介 / 山内圭哉 / 藤木 孝 / 吉田鋼太郎 ほか

料金 【全席指定】10,000円 / サイドシート:8,000円
TEL ホリプロチケットセンター 03-3490-4949

Theatre East

A 3日(木)～13日(日) BOX

ハイハイ「おとこたち」

作・演出 岩井秀人 **出演** 安藤 聖 / 岩井秀人 / 岡部たかし / 菅原永二 / 永井若葉 / 平原テツ / 用松 亮

料金 【全席指定】前売(前半割●):3,300円 / 当日:3,800円 / 前売(○):3,500円 / 当日:4,000円 / 学生(前売・当日共):2,500円(当日受付にて要証明書) / 高校生以下(前売・当日共):1,000円(前売は東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い / 当日受付にて要証明書)

TEL ハイハイ 080-6562-4520

Theatre West

A 2日(水)～6日(日)

VOGUE ～鏡の国のハサミ～

脚本・演出 関川慶一

出演 堀畑杏奈(キリンプロ) / 大真みらん ほか

料金 【全席指定】VOGUE席(特典付き)6,500円 / S:5,500円 / A:5,000円

TEL 東京パノラマシアター 090-9965-3612

B 9日(水)～14日(月)

Peach Boys

脚本 米田 基 **演出** 森井 睦

出演 宮崎理奈 / 藤馬ゆうや / 斎藤ヤスカ ほか

料金 【全席指定】前売:5,500円 / 当日:6,000円

TEL 株式会社ばるるエンタープライズ 03-3388-1477

7月	9	10	11	12	13	14							
水	木	金	土	日	月	火							
13:00					●	●							
14:00			●	●									
15:00									●				
18:00					●	●							
19:00	●	●	●										

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

「お問合せ」東京芸術劇場ボックスオフィス

0570-010-296

〔休館日を除く 10:00～19:00〕

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

ファゴット(Fg)/サクソス(Sax)/ホルン(Hr)/トランペット(Tp)/トロンボーン(Trb)/ユーフォニアム(Euph)/ヴァイオリン(Vn)/ヴィオラ(Vla)/チェロ(Vc)/コントラバス(Cb)/ハープ(Hp)/ピアノ(Pf)/チェンバロ(Cemb)/オルガン(Org)

K 15日(火) Closed・関係者のみ

共立女子高等学校芸術鑑賞講座 日本フィルハーモニー交響楽団特別演奏会

L 17日(木) 12:15開演 BOX

東京芸術劇場ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.106

出演 堀切麻里子 (Org)

曲目 J.S.バッハ/ファンタジア「来たれ聖霊、主なる神」
柿沼 唯/蓮花～ミーントーン・オルガンのための～
J.アラン/リタニー（連弾） ほか

料金 【全席自由】500円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

M 18日(金) 18:30開演 BOX

NIPPON SYMPHONY CONCERT Vol.22

出演 新田 孝(Cond) / 田中照子(Pf) / 相賢賢一朗(Vn) / NIPPON SYMPHONY

曲目 レスピーギ/ピアノ協奏曲
ベートーヴェン/ヴァイオリン協奏曲、交響曲第3番「英雄」

料金 SS:7,000円/S:6,000円/A:5,000円/B:4,000円
TEL ニッポン・シンフォニー 090-6927-3447

N 19日(土) 15:00開演 BOX

東京芸術劇場 海外オーケストラシリーズ1 フランス国立リヨン管弦楽団

出演 レナード・スラットキン(Cond) / 小菅 優 (Pf) / 石丸由佳(Org) / フランス国立リヨン管弦楽団

曲目 ラヴェル/組曲「マ・メール・ロワ」
ピアノ協奏曲ト長調

サン＝サーンス/交響曲第3番「オルガン付き」

料金 SS:14,000円/S:12,000円/A:8,000円/B:6,000円/C:5,000円/D:3,000円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

7・8月	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	8/1	2	3	
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
13:00		●						●	●					●	●							●	●					●	●		
14:00				休		●	●			●			●				休					●		●							
18:00		●	●					●						●	●			休					●						●	●	
19:00				●	●	●						●	●									●	●								

B 18日(金)～26日(土)

オリジナルミュージカル「パパの誕生日」

脚本・演出・振付・作詞 相良まみ

出演 中島康宏 / 佐藤亜美菜 / Ichi ほか

料金 【全席指定】前売:5,500円 / 当日:6,000円

TEL ウィングエンターテイメント 03-6452-3046

O 20日(日) 14:00開演 BOX

読売日本交響楽団 第168回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 ハルトムート・ヘンヒェン (Cond) / ポール・ルイス (Pf) / 読売日本交響楽団

曲目 マルティナー/リディアツェへの追悼
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第3番
シューベルト/交響曲第8番「グレイト」

料金 S:7,200円/A:5,100円/B:4,100円/C:3,000円/ジュニア:1,500円

TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

P 21日(月・祝) 14:00開演

東京大学音楽部管弦楽団 サマーコンサート2014東京公演

出演 三石精一(Cond) / 東京大学音楽部管弦楽団

曲目 ベルリオーズ/「ローマの謝肉祭」序曲
プラームス/ハイドンの主題による変奏曲
チャイコフスキー/交響曲第5番

料金 S:1,500円/A:1,000円

TEL チケット担当 090-3507-6045

Q 24日(木) 11:00開演 / 14:00開演 BOX

日本フィル夏休みコンサート2014

出演 川瀬賢太郎 (Cond) / 日本女子体育大学新体操部 / 江原陽子 / 日本フィルハーモニー交響楽団 ほか

曲目 〈第1部〉プリテン / 青少年のための管弦楽入門 ほか
〈第2部〉アンダーソン / 舞踏会の美女
ベートーヴェン / 交響曲第7番より第4楽章 ほか
〈第3部〉みんなであたおう「さんぽ」、「夏の思い出」 ほか

料金 【子供】S:3,200円/A:2,500円/B:1,800円 / 【大人】S:5,200円/A:4,200円/B:3,200円

TEL 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

「休館日」7日(月)・28日(月)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。また、館内店舗（一部店舗を除く）は閉店しておりますのでご了承ください。
※原則未就学児のご入場はお断りしています。
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

R 26日(土)

メトロポリス・クラシックス

主催：メトロ文化財団
※6月9日(月)募集終了。当日の追加発券はございません。

S 27日(日) 14:00開演 BOX

ワグネル・ソサイエティー・OBオーケストラ 創立40周年記念 第76回定期演奏会

出演 寺岡清高 (Cond) / ワグネル・ソサイエティー・OBオーケストラ

曲目 ヨハン・シュトラウス2世 / 皇帝円舞曲
ブルックナー / 交響曲第8番

料金 【全席指定】2,000円

TEL 演奏会マネージャー 090-8011-6063

T 30日(水) 19:00開演 BOX

ヨーロッパを席巻する、スーパーチェロ・カルテット クアトロチェリ

出演 クアトロチェリ

曲目 バッハ / G線上のアリア
映画「ミッション・インポッシブル」のテーマ
映画「ゴットファーザー」より〈愛のテーマ〉
映画「スター・ウォーズ」より〈帝国のマーチ〉 ほか

料金 S:5,500円/A:5,000円

TEL MIN-ONインフォメーションセンター 03-3226-9999

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
Concert Hall	A	B	C			D	E		F	G		休 館 日			H	I				J			K	L	M		N		O	P	Q	
Playhouse	A	A													B																	
Theatre East	A			B																												
Theatre West				A								B																				

Concert Hall 音楽略号:指揮(Cond)/ソプラノ(Sop)/メゾソプラ(M.Sop)/アルト(Alt)/テノール(Ten)/バリトン(Bar)/バス(Bass)/コーラス(Chor)/フルート(Fl)/オーボエ(Ob)/クラリネット(Cl)/

A 1日(金) 11:00開演 / 14:30開演 BOX

0歳からのオーケストラ
ズーラシアンプラスmeets東京交響楽団

出演 井田勝大(Cond)/ズーラシアンプラス(金管5重奏)/東京交響楽団
曲目 高橋宏樹/ストローラー・マーチ
 ストラヴィンスキー/バレエ音楽「火の鳥」より
 (カスチェイ王の魔の踊り)
 ズーラシアンと東響が繰り広げる「金管オリンピック」
 みんなで歌おう!「さんぼ」、「ジョン・ウィリアムズメドレー」 ほか
料金 大人:3,500円/子ども(中学生以下):1,500円
TEL TOKYO SYMPHONY チケットセンター
 044-520-1511

B 2日(土) 14:00開演 BOX

日本フィル夏休みコンサート2014

出演 園田隆一郎(Cond)/日本女子体育大学新体操部/
 江原陽子/日本フィルハーモニー交響楽団 ほか
曲目 【第1部】ブリテン/青少年のための管弦楽入門 ほか
 【第2部】アンダーソン/舞踏会の美女
 ベートーヴェン/交響曲第7番より(第4楽章) ほか
 【第3部】みんなでうたおう「さんぼ」、「夏の思い出」 ほか
料金 【子供】S:3,200円/A:2,500円/B:1,800円/
 【大人】S:5,200円/A:4,200円/B:3,200円
TEL 日本フィルサービスセンター 03-5378-5911

C 3日(日) 14:00開演 BOX

東京都交響楽団
「作曲家の肖像」シリーズVol.98

出演 マルク・ミンコフスキ(Cond)/東京都交響楽団
曲目 ビゼー/交響曲「ローマ」、「アルルの女」組曲第1番、第2番
料金 S:5,800円/A:4,800円/B:3,800円/C:2,800円/
 Ex:2,000円
TEL 都響ガイド 03-3822-0727

Playhouse

A ~3日(日) BOX

カッコウの巣の上で

上演台本・演出 河原雅彦 **原作** ケン・キージー **脚本** デール・ワッサーマン
出演 小栗 旬/神野三鈴/武田真治/大東駿介/山内圭哉/
 藤木 孝/吉田鋼太郎 ほか
料金 【全席指定】全席:10,000円/サイドシート:8,000円
TEL ホリプロチケットセンター 03-3490-4949

8月	1 金	2 土	3 日
13:00		●	●
14:00			
18:00		●	
19:00	●		

B 14日(木)~17日(日) BOX

芸劇dance「睡眠—Sleep—」
勅使川原三郎 新作公演

構成・演出・振付 勅使川原三郎
出演 オーレリー・デュボン/佐左利穂子/勅使川原三郎 ほか
料金 【全席指定】S:7,000円/A:5,500円/高校生割引:1,000円/25歳以下(A席):4,000円/65歳以上(S席):6,000円
 ※高校生、25歳以下、65歳以上割引は、東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い(枚数限定・要証明書)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

8月	14 木	15 金	16 土	17 日
15:00			●	
16:00		●		●
19:00	●		●	

Theatre East

A 2日(土)~3日(日) BOX

オックスフォード大学演劇協会 (OUDS) 来日公演
「十二夜」 (英語上演/日本語字幕)

作 ウィリアム・シェイクスピア **出演・演出** オックスフォード大学演劇協会 (OUDS) ★=公演終了後、OUDSメンバーとの交流会有り
料金 【全席指定】一般:2,500円/学生:2,000円/高校生:1,000円
 ※学生・高校生は、東京芸術劇場ボックスオフィスで前売のみ取扱い(枚数限定・要証明書)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

8月	2 土	3 日
14:00		★
18:00	●	

B 4日(月)~7日(木) Closed・関係者のみ

地域創造フェスティバル2014

8月	9 土	10 日	11 月	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木
13:00		●						●
14:00					●			●
17:00		●						
19:00					●	●	●	

Theatre West

A 5日(火)~7日(木) Closed・関係者のみ

地域創造フェスティバル2014

B 9日(土)~16日(土) BOX

二人芝居／一万年後も君は世界でいちばん美しい

脚本 畑澤聖祐 **演出** 中屋敷法仁 **出演** 早乙女太一/松田美由紀
料金 【全席指定】6,000円
TEL サンライズプロモーション 0570-00-3337

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ **東京芸術劇場** ボックスオフィス **0570-010-296** [休館日を除く 10:00~19:00]

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

ファゴット(Fg)/サクソックス(Sax)/ホルン(Hr)/トランペット(Tp)/トロンボーン(Trb)/ヴァイオリン(Vn)/ヴィオラ(Vla)/チェロ(Vc)/コントラバス(Cb)/ハープ(Hp)/ピアノ(Pf)/チェンバロ(Cemb)/オルガン(Org)

I 17日(日) 14:00開演 無料

おもいっきり音楽体験!
オーケストラがやってきた!

出演 ヘルベルト・フォン・ホリヤン(堀 俊輔)(Cond)/
 奥村 愛(Vn)/佐々木りお/東京交響楽団
曲目 ロッシニ/オペラ「ウィリアム・テル」序曲より(スイス軍の行進)
 エルガー/愛の挨拶
 久石譲/オーケストラシリーズ「となりのトトロ」 ほか
料金 無料(要往復ハガキまたはインターネット事前申込。7月18日必着。インターネット申込みは同日17時まで)
 ※都内在住、在勤、在学対象
TEL 「東京都人材支援事業団ファミリーコンサート」事務局
 0120-830-362

J 19日(火) 14:00開演 無料

東京芸術劇場ティータム・コンサートVol.7

出演 栗コーダーカルテット
曲目 未定
料金 【全席自由】入場無料
 (当日13時より5階コンサートホール前にて整理券配布・約150枚)
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

K 22日(金) 18:00開演 BOX

第12回東京音楽コンクール・本選
金管部門

出演 川瀬賢太郎(Cond)/第2次予選通過者4名予定/
 東京フィルハーモニー交響楽団
曲目 本選進出者が演奏する課題曲
料金 【全席自由】2,000円
TEL 東京文化会館事業企画課「東京音楽コンクール」係
 03-3828-2116

G 21日(木)~26日(火)

DANCE LEGEND vol.2 「Argentango」

構成・演出・振付 グスタヴォ・ザジャック
出演 湖月わたる/水 夏希/彩吹真央/原田 薫/碓井菜央
料金 【全席指定】8,800円
TEL 梅田芸術劇場 0570-077-039(10:00~18:00)

8月	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火
12:30		●	●			
14:00	●	●				●
17:00			●	●		
18:30					★	
19:00	●					

★=終演後、イベント有

D 28日(木)~31日(日)

Rasta Thomas' BADBOYS of DANCE
「Rock the Ballet 2」

構成・演出 ラスタトーマス **振付** エイドリアン・カンターナ
出演 ラスタトーマス/大貫勇輔/エイドリアン・カンターナ/
 BAD BOYS選抜メンバー
料金 【全席指定】S:8,000円/A:6,000円
TEL 梅田芸術劇場 0570-077-039(10:00~18:00)

8月	28 木	29 金	30 土	31 日
13:00			●	●
14:00		●		
18:00			●	
19:00	★			

★=終演後、ダンスコラ有

G 23日(土)~31日(日) BOX

芸劇eyesはえぎわ「ハエのように舞い 牛は笑う」

作・演出 ノゾエ征爾
出演 井内ミワク/町田水城/鈴真紀史/滝 寛式/竹口龍茶/踊り子あり/川上友里/鳥島明/富川一人/
 山口航太/ノゾエ征爾/笠木 泉/上村 聡(遊園地再生事業団)/河井克夫/橋 花梨
生音楽 田中 馨+1(川村亘平斎:25日、27~31日/オロドリヒロ:23日、24日、26日)
料金 【全席自由 整理番号付】前売:3,500円/当日:4,000円/高校生割引:1,000円/中学生以下:500円 ※要証明書
TEL (公演については)はえぎわ 070-5366-8809(平日12:00~19:00) (チケットについては)リトルジャイアンツ 090-8045-2079(平日12:00~19:00)

8月	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日
14:00		●		●	●	●	●	●	●
19:00	●								

※アフタートークあり。詳細は、はえぎわHPなどで随時発表。

G 17日(日) 開演時間未定

芸協特選落語会

料金 未定
TEL 公益社団法人落語芸術協会 03-5909-3080

D 21日(木)~31日(日)

空—SORA—

脚本・演出 澤田正俊
料金 【指定】プレミアムシート(前売):4,500円(1公演10席限定)
 【指定】前売:4,000円
 【自由】前売:4,000円(日時限定)/当日:4,000円
TEL 劇団ZAPPA 080-3129-4930

[休館日] 11日(月)・12日(火)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。
 また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。
 ※原則未就学児のご入場はお断りしています。
 ※プログラム・出演者等に変更が出る場合がございます。
 ※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

O 28日(木) 19:30開演 BOX

東京芸術劇場ナイトタイム・
パイプオルガンコンサートVol.6

出演 小林英之(Org)/三上明子(Fl)
曲目 未定
料金 【全席指定】1,000円
TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

P 29日(金) 19:00開演 BOX

アジアユースオーケストラ東京公演
2014

出演 ジェームズ・ジャッド(Cond)/アジアユースオーケストラ
曲目 ヴェルディ/歌劇「運命の力」序曲
 ドビュッシー/牧神の午後への前奏曲
 ラヴェル/ラ・ヴァルス
 チャイコフスキー/交響曲第5番
料金 S:4,000円/A:2,000円
TEL (株)インタースペース 03-3263-4399

Q 30日(土) 14:00開演 BOX

アジアユースオーケストラ東京公演
2014

出演 リチャード・バンチャス(Cond)/アジアユースオーケストラ
曲目 バーンスタイン/「キャンディード」序曲
 R.シュトラウス/交響詩「英雄の生涯」
 ベートーヴェン/交響曲第3番「英雄」
料金 S:4,000円/A:2,000円
TEL (株)インタースペース 03-3263-4399

	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月祝	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	
Concert Hall		A				B		休	C	D	E	F	G	H				I	J	K	L						N	O	P		
Playhouse														A																	B
Theatre East					A								B													C					
Theatre West			A	B										C																	

Concert Hall
音楽略号：指揮(Cond)/ソプラノ(Sop)/メゾ・ソプラ(M.Sop)/アルト(Alt)/テノール(Ten)/バリトン(Bar)/バス(Bass)/コーラス(Chor)/フルート(Fl)/オーボエ(Ob)/クラリネット(Cl)/

A 3日(水) 19:00開演

第10回読響メトロポリタン・シリーズ

出演 コルネリウス・マイスター(Cond)/アリス=紗良・オット(Pf)/読売日本交響楽団

曲目 ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第1番
R.シュトラウス/アルプス交響曲

料金 S:7,200円/A:5,100円/B:4,100円/C:3,000円

TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

B 6日(土) 15:00開演

東京芸術劇場 コンサートオペラvol.2
G.ヴェルディ 歌劇「ドン・カルロス」パリ初演版
(フランス語全5幕(日本初演))演奏会形式

出演 佐藤正浩(Cond)/フィリップ2世:C.コロンバーラ/ドン・カルロス:佐野成宏/ロドリゲ:堀内康雄/宗教裁判長:妻屋秀和/エリザベート:浜田理恵/エポリ公女:小山由美/修道士:ジョン・ハオ/ティボ:鷲尾麻衣/天の声:佐藤美枝子/レルマ伯爵:G.ゴーツェ/管弦楽:ザ・オペラ・バンド/コーラス:武蔵野音楽大学(合唱指揮:横山修司)

曲目 G.ヴェルディ/歌劇「ドン・カルロス」パリ初演版

料金 S:7,000円/A:5,500円/B:4,000円/C:3,000円/D:2,000円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

Playhouse

A 5日(金)～23日(火・祝)

美輪明宏／ロマンティック音楽会2014

構成・演出 美輪明宏 **演奏** セルジュ染井アンサンブル

出演 美輪明宏

料金 【全席指定】S:9,000円/A:7,000円

TEL ハルコ 03-3477-5858

9月	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月祝	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火祝												
15:00	●	●	●																												
18:30	●																														

Theatre East

A 4日(木)～7日(日)

芸術dance
BATIK 「落ち合っている」

構成・演出・振付 黒田育世

出演 伊佐千明/大江麻美子/寺西理恵/中津留絢香/矢嶋久美子/黒田育世

※キャスト日替り、詳細はBATIK HP(http://batik.jp/)にて

料金 【全席指定】一般:4,000円/学生:3,000円/当日:4,500円

TEL ハイウッド 03-3320-7217

Theatre West

A 2日(火) 開演時間未定

春風亭小柳枝一門会

料金 未定

TEL 公益社団法人落語芸術協会 03-5909-3080

B 3日(水)～4日(木) 開演時間未定

芸協特選落語会

料金 未定

TEL 公益社団法人落語芸術協会 03-5909-3080

C 11日(木)～15日(月・祝)

男装音楽劇「星の王子さま」

脚本 寺山修司 **作・演出・振付** スズキ拓朗

音楽・演奏 朝比奈尚行

出演 未唯mie/野口和美/大鶴美仁音 ほか

料金 【全席指定】前売:4,500円/当日:5,000円/学生前売:3,500円/学生当日:4,000円

TEL 青娥館 080-1614-6114

9月	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月祝
14:00		●	●	●	●
19:00	●	●	●	●	

東京芸術劇場ホームページ www.geigeki.jp

お問合せ 東京芸術劇場ボックスオフィス **0570-010-296**
〔休館日を除く 10:00～19:00〕

BOX 東京芸術劇場ボックスオフィスにてチケットお取り扱いのある公演

ファゴット(Fg)/サクソス(Sax)/ホルン(Hr)/トランペット(Tp)/トロンボーン(Trb)/ティンパニ(Timp)/ヴァイオリン(Vn)/ヴィオラ(Vla)/チェロ(Vc)/コントラバス(Cb)/ハープ(Hp)/ピアノ(Pf)/チェンバロ(Cemb)/オルガン(Org)

I 18日(木) 12:15開演

東京芸術劇場ランチタイム・パイプオルガンコンサートVol.107

出演 平井靖子(Org)

曲目 A.レゾン/第5施法の奉献曲「パリ市民による王様万歳」
J.S.バッハ/トッカータ、アダージョとフーガハ長調BWV564

料金 【全席自由】500円

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

J 19日(金) 19:00開演

東京都交響楽団 第775回定期演奏会 Aシリーズ

出演 小泉和裕(Cond)/鈴木 学(Vla)/東京都交響楽団

曲目 エロード/ヴィオラ協奏曲
ブルックナー/交響曲第2番(ノヴァーク版:1877年)

料金 S:6,500円/A:5,500円/B:4,500円/C:3,500円/Ex:2,000円

TEL 都響ガイド 03-3822-0727

K 20日(土) 14:00開演

読売日本交響楽団 第169回東京芸術劇場マチネーシリーズ

出演 下野竜也(Cond)/小林英之(Org)/岡田全弘(読響・首席ティンパニ奏者)(Timp)/読売日本交響楽団

曲目 J.S.バッハ(ストコフスキー編)/トッカータとフーガBWV565
ブーランク/オルガン、弦楽とティンパニのための協奏曲
サン＝サーンス/交響曲第3番「オルガン付き」

料金 S:7,200円/A:5,100円/B:4,100円/C:3,000円/ジュニア:1,500円

TEL 読響チケットセンター 0570-00-4390

B 29日(月)～10月13日(月・祝)

小指の思い出

作 野田秀樹 **演出** 藤田貴大

出演 勝地 涼 鮎屋法水 青柳いづみ 山崎ルキノ 川崎ゆり子 伊東茄那 小泉まさ石井亮介 斎藤摩子 中島広隆/宮崎吐夢 山内健司 山中 崇/松重 豊

料金 【全席指定】S:5,500円/A:4,500円/高校生:1,000円/25歳以下(A席):3,500円/65歳以上(S席):5,000円 ※高校生、25歳以下(A席)、65歳以上(S席)、各種割引チケットは、東京芸術劇場ボックスオフィスにて前売のみ取扱い(枚数限り・要証明書)
「小指の思い出」・「半神」セット券:9,000円/1名様分(S席・枚数限定・前売のみ)※東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い

TEL 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296

B 12日(金)～15日(月・祝)

演劇系大学共同制作 vol.2 「見よ、飛行機の高く飛べるを」

※公演スケジュールはお問い合わせ下さい。

作 永井愛 **演出** 越光照文

出演 演劇系大学 大学生

料金 一般:2,000円/大学生:1,500円/中高生:1,000円

TEL 桐朋学園芸術短期大学 地下演劇研究室(土曜・日祝休) 03-3300-3917(7月末まで) drama-p@toho.ac.jp

D 19日(金)～28日(日)

eyes plus サンプル 「ファーム」

作・演出 松井周

出演 古屋隆大/奥田洋平/野津あおい/羽場睦子/金子岳憲/町田マリー

料金 【全席指定】前売(前半割○):3,200円/当日:3,500円/前売(●):3,500円/当日:3,800円/学生(前売・当日共):2,500円(当日受付にて要証明書)/高校生割引(前売のみ):1,000円(東京芸術劇場ボックスオフィスのみ取扱い/当日受付にて要証明書/枚数限定)

TEL サンプル 090-2903-8363(10:00～20:00)

L 21日(日) 15:00開演

東京芸術劇場Presents プラスウィーク2014 シエナ・ウインド・オーケストラ 第38回定期演奏会

出演 宮川彬良(Cond)/シエナ・ウインド・オーケストラ ほか

曲目 J.P.スーザ/星条旗よ永遠なれ
宮川彬良/吹奏楽のためのソナタ「ブラック・ジャック」
A.リード/アルメリアン・ダンス パートI
R.ロジャース(宮川彬良 編曲)/シャル・ウィ・ダンス?
宮川彬良/新アレンジ作品
L.バーンスタイン(ラヴェンダー 編曲)/「ウェスト・サイド・ストーリー」より*シンフォニック・ダンス*

料金 SS:5,500円/S:4,500円/A:3,500円/B:2,500円

TEL 一般社団法人ジャパン・シンフォニック・ウインド 03-3357-4870

M 23日(火・祝) 14:00開演

陸上自衛隊東部方面音楽隊 第62回定期演奏会

出演 田村 守(隊長)(Cond)/加藤伸明(Cl)/陸上自衛隊東部方面音楽隊

曲目 ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界より」全楽章
吹奏楽オリジナル作品、クラリネットコンチェルト ほか

料金 無料(要往復はがきによる事前申込制)

TEL 陸上自衛隊東部方面音楽隊 048-460-1711

〔休館日〕8日(月)

休館日の施設のご利用案内及びお電話でのお問合せ受付は行っておりません。また、館内店舗(一部店舗を除く)は閉店しておりますのでご了承下さい。
※原則未就学児のご入場はお断りしています。
※プログラム、出演者等に変更が出る場合がございます。
※最新情報は、各お問合せ先までご確認ください。

N 27日(土) 14:30開演

東京ニューシティ管弦楽団 第95回定期演奏会

出演 内藤 彰(Cond)/ユーリ・レーヴィッチ(Vn)/東京ニューシティ管弦楽団

曲目 ベートーヴェン/序曲「コリオラン」
バガニエリノ/ヴァイオリン協奏曲第2番
シューベルト/交響曲第7番「未完成」4楽章完成版(キャラガン改訂新版)

料金 S:6,000円/A:4,500円/B:3,000円/C:2,000円

TEL 東京ニューシティ管弦楽団 03-5933-3266

O 28日(日) 14:00開演

東京芸術劇場Presents プラスウィーク2014 東京佼成ウインドオーケストラ 第120回定期演奏会

出演 ダグラス・ポストック(Cond)/東京佼成ウインドオーケストラ

曲目 R.ヴォーン・ウィリアムズ/トッカータ・マルツィアーレ
P.グレインジャー/リンカーンシャーの花束
E.グレッグスン/剣と王冠
G.ジェイコブ/オリジナル組曲
P.グレインジャー/コロニアル・ソング
P.スバーク/宇宙の音楽

料金 S6,000円 A4,500円 B3,500円 C1,000円

TEL 東京佼成ウインドオーケストラ事務局 03-5341-1155

P 29日(月) Closed・関係者のみ

城西大学附属城西中学高等学校 第37回音楽祭

★=終演後、ポストパフォーマンストークあり
○=視覚障害者のための「舞台説明会」、聴覚障害者のための「ボータブル字幕機提供」実施

Gallery 1				
10日(木)~13日(日) 無料 蜷川宏子キルトファクトリー 第八回展示会 TEL 石塚 0424-76-2562	18日(金)~21日(月・祝) 無料 第4回 墨輪展 TEL 森 0297-45-6076	23日(水)~27日(日) 無料 21世紀の書=破体 (松本筑峯遺作展・第55回破体展) TEL 東洋書道芸術学会 042-626-6806	30日(水)~8月3日(日) 無料 10周年記念 水彩連盟埼玉西支部展 TEL 水彩連盟埼玉西支部事務所 049-286-2419	28日(木)~31日(日) 無料 Gallery1・2同時開催 僕らの書展2014 TEL 佐藤 090-5544-3060
~3日(日) 無料 10周年記念 水彩連盟埼玉西支部展 TEL 水彩連盟埼玉西支部事務所 049-286-2419	4日(月)~10日(日) 無料 第29回 日本の海洋画展 TEL 一般財団法人全日本海員福祉センター 飯田 03-3475-5391	20日(水)~23日(土) 無料 FOUND ART EXHIBITION 芸術の絆 KI-ZU-NA TEL クリエイト・アイエムエス株式会社 03-5318-9061	24日(日)~27日(水) 無料 第22回 臨書と自由書作品展 -日本・ポーランド 100年「道」- TEL 高橋 03-3371-5123	28日(木)~31日(日) 無料 Gallery1・2同時開催 僕らの書展2014 TEL 佐藤 090-5544-3060
2日(火)~7日(日) 無料 2014 全日本山岳写真展 TEL 全日本山岳写真協会 関谷 03-3634-8030	9日(火)~14日(日) 無料 秋の日本水墨画展 TEL 竹中 048-474-2239	19日(金)~23日(火・祝) 無料 Gallery1・2同時開催 としま区民芸術祭 豊島区総合美術展 TEL 公益財団法人としま未来文化財団 みらい文化課 プランセクション 03-3590-7118	25日(木)~28日(日) 無料 Gallery1・2同時開催 第11回 <<書統>>全国展 TEL 菅原書房 田中 03-3462-5251	30日(火)~10月5日(日) 無料 第17回 公募インテリアの書展 TEL 墨のサロン 049-284-4311

Gallery 2				
24日(日)~27日(水) 無料 小野寺観洲喜寿書展 併催-書を志した教え子五人展- TEL 小野寺 03-3935-6641	28日(木)~31日(日) 無料 Gallery1・2同時開催 僕らの書展2014 TEL 佐藤 090-5544-3060	21日(日)~23日(火・祝) 無料 Gallery1・2同時開催 としま区民芸術祭 豊島区総合美術展 TEL 公益財団法人としま未来文化財団 みらい文化課 プランセクション 03-3590-7118	25日(木)~28日(日) 無料 Gallery1・2同時開催 第11回 <<書統>>全国展 TEL 菅原書房 田中 03-3462-5251	
10日(水)~14日(日) 無料 第34回 国際書道連盟役員展 TEL 瀧口 03-3907-2150	15日(月・祝)~19日(金) 無料 第2回 心和書道会小品展 TEL 陸野 048-479-4440			

Atelier East				
26日(土)~27日(日) 無料 金英淑・康貞奈 二人展 TEL 金 090-4226-4367	4日(月)~7日(木) Closed-関係者のみ Atelier East-West同時開催 地域創造フェスティバル2014 TEL 日本美術会 03-5842-5665	24日(日)~27日(水) 無料 Atelier East-West同時開催 第5回 ART CONFUSE展 TEL 日本美術会 03-5842-5665	28日(木)~31日(日) 無料 マーレン会 第6回作品展 TEL 長谷川 03-3203-1021	
5日(金)~16日(火) BOX eyes plus 富士山アネット/Manos. 「醜い男」 TEL 富士山家 080-5496-7555 ※詳細スケジュールは劇場HPへ	20日(土)~23日(火・祝) 無料 第二十五回 泰永書展 TEL 泰永会事務局(也太奇内) 03-3332-3701	24日(水)~28日(日) 無料 東風会 第7回 作陶展 TEL 岸田 0422-43-8394	30日(火)~10月5日(日) 無料 能面倉林会 能面展 TEL 倉林 080-5678-1736	

Atelier West				
1日(火)~6日(日) 無料 くれよん展 TEL 片岡 03-3933-5206	22日(火)~27日(日) 無料 美容界美術家クラブ絵画展 TEL 早川 045-983-2540			
4日(月)~7日(木) Closed-関係者のみ Atelier East-West同時開催 地域創造フェスティバル2014	24日(日)~27日(水) 無料 Atelier East-West同時開催 第5回 ART CONFUSE展 TEL 日本美術会 03-5842-5665	29日(金)~31日(日) 無料 珠紅会書展 TEL 黒木 03-3915-6893		
10日(水)~14日(日) 無料 酒井康堂・子遠一門会 忘形印社展 TEL 周 080-6670-0567	15日(月・祝)~19日(金) 無料 一会の会展 TEL 長谷川 03-3954-4352	20日(土)~23日(火・祝) 無料 第21回 創作者集団アートビックス展 TEL 黒木 03-3805-5111	24日(水)~28日(日) 無料 第29回 新生会展 TEL 二平 03-3933-5954	29日(月)~10月5日(日) 無料 サロンDEボンダールの会 会員展 TEL 浜崎 03-5932-1518

PICKUP

オックスフォード大学演劇協会 (OUDS) 来日公演 「十二夜」

英語上演・日本語字幕付き

8月2日(土) 18:00開演・3日(日) 14:00開演 シアターイースト

詳細はP11へ



作:ウィリアム・シェイクスピア
演出・出演:オックスフォード大学演劇協会(OUDS)

イギリスの名門学生劇団が演じる、恋のドタバタ喜劇!

オックスフォード大学演劇協会(OUDS)は、英国の名門オックスフォード大学の学生たちによって構成された由緒ある学生劇団です。1885年に創設され、現在に至る100年以上の歴史の中で常に若い才能を育み続け、英国演劇界や映画界をはじめ世界で活躍する数々のスターたちを輩出しています。シェイクスピア生誕450周年にあたる今年、OUDSの来日公演は12回目を迎えます。今年の演目は、シェイクスピア喜劇の中でも

最高傑作との呼び声が高い「十二夜」。双子の兄を亡くしたと思った妹が男装して兄そっくりの姿となったことから始まる、男女の取り違いや思い込み。大混乱の恋愛騒動を、オックスフォード大学の学生たちが生き生きと演じます。イギリスの若者たちの躍動感あふれるフレッシュな演技、そして美しいプリティッシュイングリッシュによるシェイクスピア作品の原語上演を日本語字幕付きでお楽しみください。

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/豊島区 助成:平成26年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアティブ

集まれ!池袋みんなの大道芸

9月~10月の週末(開催日の詳細はHPでご確認ください。) 劇場前広場



加納真実

厳選された一流のストリートパフォーマーたちにより大いに盛り上がったゴールデンウィークの『集まれ!池袋みんなの大道芸』。引き続き9月と10月の週末での開催が決定しました!劇場前広場という場所でおこなわれることを考え選出されたパフォーマーは、技やテクニックは勿論のこと、その場の空気を一瞬で変えてしまうほどの魅力をもつメンツばかり。そんな彼らのパフォーマンスで劇場前広場にいったいどんな景色が広がるのか? 日常が非日常へと変わる瞬間をぜひ確かめ

にいらしてください!ジャグリングに挑戦できるチャレンジ広場も引き続き開催中です。東京都公認の大道芸人‘へブンアーティスト’のパフォーマンスとあわせて、まさにみんなの大道芸となるべく盛り上がってきた劇場前広場。皆様のお越しをお待ちしております!!

お問合せ | 東京芸術劇場 事業調整係 03-5391-2116
主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/豊島区 助成:平成26年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアティブ

近藤良平・コンドルズ 池袋大作戦!! にゅ〜盆踊り

8月10日(日) 17:00~ 池袋西口公園(池袋西口すぐ 東京芸術劇場前)



撮影:浦井直志

近藤良平・コンドルズと一緒に池袋の街で盆踊り大会に参加しませんか?2009年から毎年開催している大好評の'にゅ〜盆踊り'大会。今年も8月10日(日)池袋西口公園での開催が決定しました!この盆踊り大会は、近藤良平振付のオリジナル盆踊り'にゅ〜盆踊り'をメインにしており、思わず笑ってしまうユニークな仕掛けが満載。当日一緒に盛り上げてくれる盆踊りリーダー(ワークショップ参加者)も大募集しています。区内の各会場(8カ所)に、近藤・コンドルズが出張してオリジナ

ル盆踊りを伝授。事前のワークショップに参加して、盆踊りリーダーとなって盛り上げ役になるもよし。当日、ふらっと参加するもよし。踊っておどって、池袋の街をジャックしちゃいましょう!!

お問合せ | あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) 03-5391-0751 http://www.owlspot.jp
主催:あうるすぽっと(公益財団法人としま未来文化財団)/豊島区 共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 企画製作:あうるすぽっと 助成:平成26年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアティブ

ONE'S
voice

野田秀樹 × アイタイヒト

VOICE.7

演出家

ソン ジン チェク

孫 振策 (Sohn Jin-Chaek)

「演劇」という名の冒険 ― 日韓の演劇事情

今秋、ソウルと東京で上演される国際共同制作作品『半神』の準備のために、度々ソウルを訪れている野田秀樹。オール韓国キャストによる『半神』の演出という冒険的試みに意欲をみせる野田秀樹は、ワークショップ形式のオーディションの合間を縫って、韓国を代表する演出家のひとり、孫 振策と再会、昨今の日韓の演劇事情について語り合った。

構成・文:編集部
photo:CHOI YONG SEOK

日韓共同制作『半神』の立ち上げ〜 昨今の韓国現代演劇事情

編集部 今年の秋に野田さんの『半神』を、東京芸術劇場と明洞芸術劇場の共同制作としてソウル、そして東京で上演することになりまして、まずはそのあたりのことからお話を進めていただければと思います。

野田 孫さんとはいつ初めてお会いしたかな？

孫 おそらく『キル』ではないでしょうか？

野田 でも、初めてお会いしてからもう20年くらいは経っているような気がしますね。

孫 (ソウルでおこなった『半神』のためのオーディションには)いい俳優が集まりましたか？

野田 そうですね。『赤鬼』と一緒に仕事をした俳優も参加してくれました。そういう時

間の積み重ねがあるのは嬉しいことですね。まだキャストの最終決定はしていないのですが。

孫 みな、野田さんの作品には出演したいでしょうね(笑)。話は変わりますが、実は今、私は半月間の断食中なんです。

野田 えっ、そうなんですか？食欲はないのですか？

孫 少し懺悔のような気持ちでやっているのです。今まで欲望のままに食べてきてしまいましたし、どうもお腹が出てきたのも嫌でした(笑)。1ヶ月前くらいから調整して8kgくらい痩せました。もちろん野田さんにはまったく必要ないことではしょけど(笑)。昨年11月に国立劇団との契約任期が終了し、一度自分自身を空っぽにすることが大切なと思い始めて。

野田 韓国の演劇界を巡る状況はどうです

か？

孫 韓国では、以前は民間の劇団が活発で、公共の劇団はマンネリ化し停滞していたのですが、今は状況が逆転して、公共の劇団の方が活発で、民間の劇団は少し停滞しているような気がします。



NODA HIDEKI

野田 若い世代はどうか？韓国の若手演劇はとても活発な印象がありますが。

孫 確かに(大学の)演劇学科や映画学科を卒業した人たちを中心に頑張っていると思います。韓国にはそうした大学が70校以上もあるんですよ。私立大学は人気取りのためにそうした学科を創設している面も否めませんが、ただ、どちらかというと演劇よりは映像の世界に興味を持っている人が多いかも知れませんね。もちろん(この世界は)数より質が大切なのですが、今はまだ質が追いついていない状況もあります。映画専攻と演劇専攻ははっきりと分かれていない部分もありますが、韓国では、実力のある俳優は、なべて映画やTVの世界を目指そうとしている人が多いとは思いますが。

野田 なるほど。日本では、演劇を目指す、というか舞台上芝居をするというより、まずは芸能事務所に入ってタレント業をするという道があります。

孫 韓国も同じような状況です。TVドラマでデビューして、のちに演劇の世界で本格的な演技の勉強をする。でも、日本では積極的に舞台にも出演する俳優が多くいると思いますが、韓国では映画やTVで売れている俳優たちは、演劇や舞台には出演した方が多いのです。

舞台芸術への公的支援

野田 一般的な俳優たちのそうした傾向は、日本もたいして変わらないですよ。演劇や舞台芸術の世界のことで言えば、国際舞台芸術フェスティバルの規模なんかは、韓国の方がずっと規模も大きくて充実していますよね。

孫 確かに他国と比べて韓国政府の芸術文化支援はかなり強力だとは思いますが。政府や公的機関が積極的に文化芸術支援策を推し進め始めたのはここ10年くらいだと思いますが、こうした政策にはメリットとデメリットの両側面があります。つまり、以前の演劇人は、豊かな生活とか、家庭的な幸福とか、そうした何かを犠牲にしてまで演劇に情熱を傾けていた部分が大きくありましたが、今は(政府などの)公的支援がなければ演劇を志すこともせず、作品を作らないようになってきてしまっている…つまり、そうしたデメリットの部分も感じています。

野田 それは確かにそうかもしれない。僕も世代的に、公的支援なんて考えてもいなかった世代だから、基本は「誰が何と言おうと、自分は演劇が好きだからやる!」という姿勢であり続けている。それに比して今の若い世代は助成金などをとることに実に長けている。時として、芝居がしたいのか、助成金をもらいたいのか、わからない部分すらある(笑)。だからといって助成金なんて必要ない、ということでもないんですけどね。

孫 まったく同感です。昔の方が良かった、とは言い切れない。もしかすると今は文明史の転換期なのかも知れませんね。文明というのは、かつては宗教的であったり、生き方そのものであった、それが今は、より“欲望”と結びつきの深いものになっているのではないか。今の時代は“意味”より“イメージ”の方が大切で、また“精神”より“身体”、“価値”より“欲望”に重きが置かれる時代なのかも知れません。“過程”より即“結果”を求める傾向とも言えるかも知れません。それに対して演劇は何ができるのか、演劇のあり方はどうあるべきか、ということを考えなければいけないのではないのでしょうか。演劇というのは作る過程が大切だと思うのですが、より結果や成果を求められる時代になってきたということかも知れません。

野田 耳の痛い話ですね。今の時代にどんな演劇を続けたいのか…。

編集部 韓国では、総じて演劇公演に若い観客が多いと思います。実際のところどうなんでしょうか？

孫 韓国では企業も文化芸術支援を活発におこなっています。そうした動きの背景には、文化芸術を支援しないと、本業である商売もうまくいかないという空気があるんです。つまり、基本的には文化芸術支援も資本主義システムと不可分なんです。私が80年代にはじめて演劇の勉強をしにイギリスに行った時には、どの劇場にも年配の目の肥えた観客が大勢いることが、とても羨ましかったことを覚えています。逆に、若い観客だけしかいない演劇は、観客層の厚みが足りない、とも言えますか。

野田 確かに僕も93年にロンドンに行った時に同じような感ももちました。その頃は僕もまだ若い世代に属していて、いわゆる本格

的な現代演劇をみる習慣はあまりなかった。で、慌てて背伸びをしてたくさん現代演劇を見ました。今も状況は同じで、若い人はそれほど背伸びをしようとはしていない気がする…メンタリティの問題もあるのかも知れない。若い人たちにそこは問いかけていきたいとも思います。

孫 今の若者たち明日のことなんて考えていないから。

野田 それはいつの時代でも同じですね(笑)。

孫 若い世代は、演劇が、自分が対価を払うに見合うものかどうかを計っているような気がします。



SOHN JIN-CHAEK

野田 若い世代に限らず、以前は、演劇をみて思索することこそが愉しみの大きな要素だったのに、今はより消費型になっているのかも知れませんね。「あ一面白かった。」と、いつかすぐに忘れてしまえるようなものが好まれてしまう。思考することこそが大切かどうか、愉しみのひとつなのに、すぐにでる結果を求め過ぎなのかも知れませんね。

孫 同感です。特に若い頃は、悩んだり難題に向き合うことは、楽しいことでしたよね。文化と資本の結びつきがますます強くなってきていると感じています。

野田 例えば、普通の人々が「数字がとれた。とれない。」という言い方をするようになったりするでしょ？そんな表現を聞いていると一億総業界人化しているように思える。

孫 今の時代は、ネットとスマホの時代です。なので必要以上に数字に気を取られる。もしかすると、演劇という表現は、もう少し狭いコミュニティにこそ向けるべきものなのかも知れない。

野田 インターネット検索でトップを持つてく

ることは、資金力を使って操作もできる。そうした意味では、今の時代は、報道ニュースですら、ある種の「表現」というか恣意的な情報になってきている。別に芸能人の話なんて見たくもないのに、ネットを通じていやがおうにも目に飛び込んできてしまう。そうした環境下で、演劇はどこに向かうべきなのか。かといってただ狭いところに追い込んでいくのも違う気がする。

孫 なので、今の自分にできることは、物事の本質を再度見極め、問題提起することだと考えています。

野田 それで断食を?(笑)

孫 いやそれは(笑)。

韓国と日本の差異

編集部 野田さんが韓国で仕事をするのは今回で三度目(『赤鬼』『THE BEE』に続いて)になりますね。

孫 私も以前、日本人俳優と何度か仕事をしてきているのですが、実際やってみると、(日本と韓国では)とても違うなと感じました。どちらかという韓国人は右脳、日本の人は左脳が優れている、と。日本の演劇システムはとてもよくできていて、演技にもあ

る種の“型”がある。韓国の俳優は、そうした“型”にはまることになりに違和感があって、どちらかという“即興”を好むというか、自由であることを好む傾向があります。ご存じの通り、韓国の生活文化には大きく言うところの側面があります。ひとつの側面は「儒教文化」そしてもうひとつは「シャーマニズム」です。つまり、表向きは模範的であろうとする心理と、それとは逆に規範から逃れようとする心理面とのふたつの強烈なメンタリティがせめぎ合っている。伝統舞踊や伝統音楽、さらに言えば韓国のご最近の目覚ましい経済発展も、そうしたふたつのメンタリティに支えられていると思います。ですので、野田さんには、そうした韓国人俳優が持っている自由奔放さやダイナミズムをうまく活用してほしい、という期待があります。私は、『アジア温泉』という作品で、日本の俳優さん達からも開放性や遊び心をなんとか引き出そうと試みたのですが、なかなかうまくいきませんでした(苦笑)。地理的にみても、イタリアや韓国のように半島に住む人たちはどちらかという即興的で情熱的、イギリスや日本のような島国の人たちはどちらかという内向的で、感情を内に秘めるタイプが多いのではないですか。

野田 なるほど、それはおもしろい分析ですね。シャーマニズムというのは、原始信仰というか、巫女の世界感ですよ。そして韓国人は、僕の目には儒教的なところや生真面目にみえるところがある。なので僕は、あえて不真面目ということではないのだけど、柔らかいところから入ろうとして、その上でシャーマニズム的なものが見つかる、とても楽しいんですよ。俳優だけでなく、観客も足を踏み鳴らしてくれたりして、とにかく熱量がある。今回もそうした韓国人の特性をかいくぐって共同作業を試みたいと思っています。

孫 韓国の俳優は、演出家が細かく決め込むのではなく、遊ばせると喜ぶますからね。

野田 ですよ!なので今回のオーディションも何も決めずに始めました(笑)。

孫 そういえば、以前『半神』も見たことを今になって思い出しました。素晴らしかった。

野田 コクーンでの再演のやつですね、どうもありがとうございます。今回も楽しみにしていて下さい。

今回のアイタイヒト

孫振策 SOHN JIN-CHAEK

ソン・ジンチェク 演出家。1947年生まれ。韓国の伝統芸能の手法を現代劇創作に生かした演出家として国内外で知られる。67年劇団山河に入団。学生時代より韓国伝統芸能の構造に関心をもち資料を収集。74年『ソウル・マルトギ』で演出デビュー。81年より上演し続けている『マダンノリ』は、国民的人気を博している。82年ロンドンRSCで研修。86年劇団美蘭創立。88年ソウル・オリンピック文化芸術祝典「漢江祭」総監督、98～00年ソウル国際演劇祭芸術監督、02年ワールドカップ開幕式総演出など国家的イベントの演出も手掛ける。さらに、01年日韓共同制作「火計り」、04年新国立劇場「The Other Side-線のむこう側」など日本での演出作品も多い。

野田秀樹 NODA HIDEKI

のだ・ひでき 劇作家・演出家・役者。1955年長崎県生まれ。東京大学在学中に「劇団 夢の遊戯社」を結成、一大ブームを巻き起こし92年に解散。ロンドン留学を経て93年、NODA・MAP設立。『キル』『ハンドラの鐘』『オイル』『THE BEE』『ザ・キャラクター』『南へ』『エッグ』『MIWA』など次々と話題作を発表。故 中村勘三郎と組んで歌舞伎『野田版 研辰の討たれ』『野田版 鼠小僧』『野田版 愛陀姫』の脚本・演出を手掛けるほか、海外の演劇人と積極的に作品を創作するなど、演劇界の旗手として国内外を問わず、精力的な活動を展開。04年5～6月には『THE BEE』English Versionをパリ、ルクセンブルク、ドイツにて上演し、高い評価を得る。09年、東京芸術劇場芸術監督に就任。多摩美術大学教授。

国際共同制作『半神』 原作・脚本:萩尾望都 脚本・演出:野田秀樹
2014年9～10月 ソウル、東京を巡回。

『エッグ』作・演出:野田秀樹
2015年2～4月 東京、パリ、大阪、北九州を巡回予定。

www.geigeki.jp



ONE'S
voice

野田秀樹 × アイタイヒト

東京芸術劇場×明洞芸術劇場 国際共同制作

「半神」 原作・脚本:萩尾望都 脚本・演出:野田秀樹

1986年の初演以来、高い評価と人気を誇る傑作「半神」を野田秀樹自身が再演出、オール韓国人キャストで上演!

東京公演:10月24日(金)～10月31日(金)(27日は休演) 会場:プレイハウス
出演:チュ・イニョン チョン・ソンミン ほか
料金:S席 5,000円 A席 4,000円 S席ペア券 8,500円/2枚 65歳以上(S席) 4,500円
25歳以下(A席) 2,000円 高校生 1,000円 (全席指定・税込)
チケット一般発売:8月2日(土)

韓国公演:9月12日(金)～10月5日(日)
会場:明洞芸術劇場(韓国・ソウル) <http://www.mdtheater.or.kr/home/main.aspx>

東京公演 主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都/東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)
共催:明洞芸術劇場 独立行政法人国際交流基金
韓国公演 主催:明洞芸術劇場 共催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 独立行政法人国際交流基金
企画協力:NODA・MAP 株式会社小宇船 オフィシャル・エアライン:ANA

<野田秀樹作品セット券>

「半神」と「小指の思い出」の
お得なセット券を一般発売に
先がけて先行販売いたします。

料金:9,000円 1名様分
(全席指定・税込・S席・枚数限定・前売のみ)
セット券発売開始:7月19日(土)
取扱:東京芸術劇場ボックスオフィス

「小指の思い出」 詳細はP14へ

作:野田秀樹
演出:藤田貴大

9月29日(月)～10月13日(月・祝)
(10月1日と6日は休演)
プレイハウス
料金:S席 5,500円 A席 4,500円 ほか
(全席指定・税込)

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)
東京都/東京文化発信プロジェクト室
(公益財団法人東京都歴史文化財団)
助成:平成26年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

14年5月13日(火)～17日(土) パリ・国立シャイヨー劇場

野田秀樹「THE BEE」English Version ヨーロッパツアー 2014 in パリ

原作:筒井康隆 ～「峯りあい」(新潮社)より～

共同脚本:野田秀樹&コリン・ティーバン

演出:野田秀樹

出演:グリン・プリチャード、ペトラ・マッシー、デヴィッド・チャールズ、野田秀樹

「THE BEE」English Version ヨーロッパツアー 2014

5月13日(火)～17日(土) PARIS (FRANCE) パリ・国立シャイヨー劇場

5月27日(火)、28日(水) LUXEMBOURG (LUXEMBOURG) ルクセンブルク市立劇場

6月2日(月)～4日(水) RECKLINGHAUSEN (GERMANY) ルール・フェスティバル

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) 助成:国際交流基金 制作協力:NODA-MAP



「THE BEE」English Version ヨーロッパツアー 2014 パリ・国立シャイヨー劇場 フランス初演
左:グリン・プリチャード 中央:野田秀樹 右:ペトラ・マッシー

「支配者」を脅えさせる、蜂とは？ 暴力と人間の関係を問う『THE BEE』に、パリの観客も驚嘆

2014年5月17日の晴れた午後、野田秀樹演出『THE BEE』英語版のパリ公演最終回を見るため、エッフェル塔に近い国立シャイヨー劇場の扉を開けた。広い大理石階段を下りて特設会場に向かう間に、期待がふくらむ。2013年初夏のシビウ国際演劇祭で見た本作の高い完成度を築いたキャストが、今回は変わるのだ。井戸役のキャサリン・ハンターと百々山警部役のマルチェロ・マーニが、別の俳優に交代。そして、英語版では小古呂の妻役を担ってきた野田が「平凡な会社員から非道な犯罪者と化す井戸」を演じる新ヴァージョンは、どう変貌を遂げたのか？

開演後まもなく、光の演出に驚く。パリの長い日照時間をいかし、窓から陽がさすなかで芝居は始まった。やがて、家路を歩む井戸が「自宅に妻子を人質にして、脱獄囚の小古呂が立てこもった」と知ったとたん、会場は暗くなる——日常から別世界にさらわれた井戸の衝撃に、観客を共振させる効果が生まれた。新メンバーを加えた四人の俳優は、暴力による支配の構造を細やかに表現。小古呂の妻

役のペトラ・マッシーの意志のない人形に似たうつろな瞳と、百々山警部役のデヴィッド・チャールズの傲慢な態度は、弱者を切り捨てる冷たい社会も感じさせた。一段と深化した人物の解釈に関しては、終演後に聞いた野田の言葉を引こう。

原作にはない人質の描写について、小古呂の妻を演じた経験を振り返りながら野田は語る。「暴力を受ける側の人間が逃げる意欲を失うまで支配されてしまう感覚を、ペトラに伝えました。子どもを助けられない自分の非力さに疲れきり、無表情に陥った状態を表してほしかった。何故こんなひどい状況で暮らしながら、無表情でいられるのか、とお客さんが疑問を抱くように。悲惨な状況に慣れざるを得ない人間が生きている事実を、観客に理解してもらうことも大切ですから」

憎むべき井戸の食事を作り、息子の指を封筒にくるむマッシーの姿から、独裁者に抑圧される人々が透ける。戦時下の残虐行為についても、野田は思索を続けてきた。

「キャサリンたちと稽古をはじめた当時から、戦場における人間の行動について議論を重ねました。ふだんは優しい人間が戦場の兵士になると、急にむごたらしいことをしでかす。そのメカニズムは決して特殊な人間だけのものではないんですね。井戸に暴力を習慣にするスイッチが入ったとき、被害者である女性と子どもは、残酷な環境に鈍化せざるを得ない戦場の人のように暮らすしかなかった」

野田の演じる井戸は小古呂の家で君臨していく過程で、怪物性を帯びる。子どもをいたわると思えば、小さな手に刃物を当て、蜂の羽音に脅え狂騒的に踊る。瞬時に切り替わる振幅の大きい演技は、観客を爆笑させ、また凍りつかせる。ハンターが男性役で野田が女性役というジェンダー交換の妙味に代わり、井戸の内面が強く迫ってきた。

悲惨な末路をたどった人物を装置の紙が包む幕切れから、一瞬の静寂の後、力強い拍手が響く。シャイヨー劇場の芸術監督は、舞踊家としても活躍するティディエ・デシャン。本作の印象を尋ねると、「秀樹は『優れたダンサー』とも呼べる。これほど豊かな動きの語彙をもつ俳優は稀だ。鉛筆などの日用品を小道具にいかす方法も、機知に富んでいるね。東京で感銘を受けた秀樹作・演出の『エッグ』を来年、シャイヨーに招聘できて嬉しいよ！」

人間の本质を問う舞台の帰路、タイトルの「蜂」が脳裏を飛び交う。原作には登場しない蜂について野田は、「室内の人質を武器を使わず心理的に支配できる井戸が、コントロールできないもの」と述べた。英語でBEと同音の名をもつ虫は、人智を超えた領域もイメージさせる。もしや「蜂」とは良心や情を忘れ果ててもなお、魂を震わす「畏怖の念」の象徴ではないか……。教会が多いヨーロッパの古都で『THE BEE』を見せたいか、「蜂」は神に近い存在とも思えるのであった。

取材・文:桂 真菜(舞踊・演劇評論家)



左:デヴィッド・チャールズ 中央:グリン・プリチャード 右:野田秀樹

芸劇+トーク 朗読「東京」シアターイースト

第1回

1月15日(水) 柳家小さん作『咄も剣も自然体』
演出:千葉雅子 出演:松重豊、千葉雅子

1月16日(木) スエヒロケイスケ作『カゲロウの黒い犬～北赤羽サイボーグ事件～』
演出:寺十吾 出演:有蘭芳記、近藤芳正

1月17日(金) 平田オリザ作『東京ノート』
演出:江本純子 出演:菅原永二、佐久間麻由

第2回

2月7日(金) 林芙美子作『骨』 出演:山崎樹範、中村 中

2月8日(土) 松本 隆作『微熱少年』 出演:加治将樹、石橋穂乃香

2月9日(日) 三島由紀夫作『百万円煎餅』 出演:森岡 龍、黒川芽衣
演出:瀬田なつき

主催:東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)/豊島区
助成:平成25年度 文化庁 地域発・文化芸術創造発信イニシアティブ

企画監修:川本三郎



『咄も剣も自然体』



『骨』



『カゲロウの黒い犬～北赤羽サイボーグ事件～』



『微熱少年』



『東京ノート』



『百万円煎餅』

「芸劇+トーク」と冠したトークを組み込んだリーディングのシリーズとして、「自作自演」がすでに9回を数えているが、2014年1月、新たに「朗読『東京』」がスタートした。「自作自演」が劇作家同士、または劇作家と小説家の顔合わせで自作のリーディングと対談を行うのに対し、「朗読『東京』」では東京を舞台にした小説や戯曲、エッセイを俳優が朗読し、文芸・映画から都市文化まで幅広い見識をもつ評論家 川本三郎氏とトークを行う。実力派から新進まで、多彩な演出家と出演者による作品を日替わりで観ることができるというのも魅力のひとつで、計6日間で6作品を上演した。

1月に行われた第1回の3組は、小劇場からテレビまでのフィールドで活躍する実力派ぞろい。この企画最初の上演となる松重豊×千葉雅子『咄も剣も自然体』は、酒を酌み交わしながら朗読するという設定で、まさに江戸下町情緒を感じさせる大人の組み合わせ。有蘭

芳記×近藤芳正『カゲロウの黒い犬』は、寺十が自らの劇団で上演した作品をリーディングとして再演出。引きこもりの長男と無職の次男を実力派の2人が演じ、殺人をめぐるシュールなやりとりから、現代東京のシニカルなやせなさが漂う。菅原永二×佐久間麻由『東京ノート』は、性別も年齢も異なる10人以上の登場人物を2人で演じ分け、平田作品の空気感を巧みに表現した江本の手腕が光った。

対して2月の第2回は、新進の映画監督 瀬田なつきが3日間3作品の演出を担当。これが舞台初演出となった。舞台奥の左右にJR中央線とゆりかもめの車窓の風景を映写し、電車が終点に到着するとともに朗読が終わるという仕掛け。戦後や60年代の東京を舞台にした作品の朗読を聞きながら、現代の風景を見ることで、観客は不思議な浮遊感を体験した。山崎樹範×中村 中『骨』は、終戦直後の人々の哀しくも凶太い生きざまを見事に表現。加治将樹×石橋穂乃香『微熱少年』は、1966年

のビートルズ来日を背景にした青春物語を20代の2人が好演。森岡 龍×黒川芽衣『百万円煎餅』は、今はない浅草の“新世界ビル”を舞台に若夫婦の生々しい質感を表現した三島作品を時にクールに、時にセクシーに表現した。

いずれも朗読のあとは、川本三郎氏をナビゲーターとして、俳優や演出家たちの東京トークが繰り広げられた。何といっても聞きどころは、川本氏の幅広い知見。下町と山の手、歓楽街や遊び場、はては鉄道に至るまで、古今の東京の風景や風俗を語ってやむことがなく、出演者までもが観客と同じ気持ちになって質問してしまうほど。朗読の余韻を感じながらの楽しいひとときになった。

朗読とトークをとおして、東京という多彩な貌をもつ街の魅力を再発見し、共有する時間。観客からも「初めて朗読を見たが、想像以上に楽しめた」「トークが面白くて最高」と好評で、シリーズとして、手ごたえを感じられる出発となった。

文:編集部

障害をお持ちの方への鑑賞サポート

東京芸術劇場では、目や耳が不自由な方に舞台を一層楽しんでいただけるよう、一部の公演で下記サービス(無料・要事前申込)を実施しています。対象公演は劇場HP等で随時ご案内いたします。障害者割引と併せてぜひご利用ください。

<http://www.geigeki.jp/access/support.html> で検索

● 視覚障害者のための舞台説明会

目の不自由なお客様に、舞台装置や登場人物などについて開演前にご説明いたします。

● 聴覚障害者のためのポータブル字幕機提供サービス

耳の不自由なお客様に、台詞や音の情報をお手元でご覧いただけるポータブル字幕機をお貸しします。

※障害者手帳をお持ちの方が対象となります。 ※障害者割引は公演により設定のない場合もございます。

芸劇 BUZZ 読者の皆様へ

🎵 ご意見・ご感想をお送りください! 🎵

いつも東京芸術劇場・季刊広報誌「芸劇BUZZ」をお読みいただき、誠にありがとうございます。劇場や本誌について、皆様からのご意見、ご感想をお寄せください。そのほか、「芸劇BUZZ」の入手場所をお書き添えいただき、下記送付先までご郵送ください。お寄せいただいたご意見・ご感想は、今後の参考にさせていただきます。

送付先: 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-8-1
東京芸術劇場「芸劇BUZZ・読者の声」係 へ
尚、お受け取りした郵便物は返却致しませんので、ご了承ください。

COVER PHOTO

芸劇・2014-2015 海外オーケストラシリーズ

指揮者

レナード・スラットキン 2014年7月19日(土) フランス国立リヨン管弦楽団

ケント・ナガノ 2014年10月10日(金) モントリオール交響楽団 photo:Marco Campanozzi

エサ=ペッカ・サロネン 2015年3月7日(土) フィルハーモニア管弦楽団 photo:Hikaru.☆

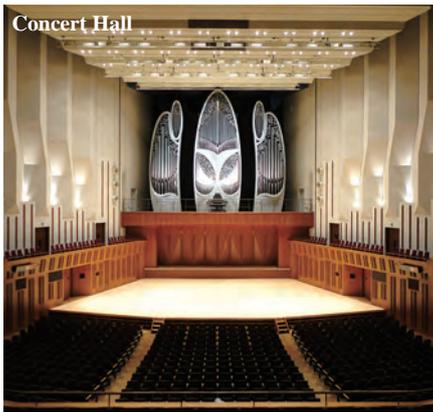
東京芸術劇場コンサートホール



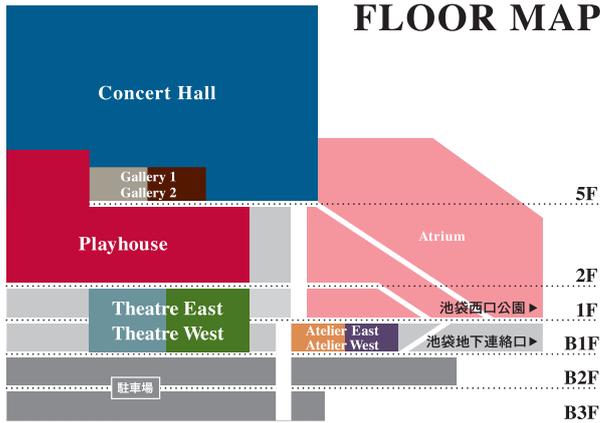
指揮者(左から)レナード・スラットキン、エサ=ペッカ・サロネン、ケント・ナガノ

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre



FLOOR MAP



1F 東京芸術劇場ボックスオフィス (チケット・総合案内カウンター)

予約 0570-010-296
お問合せ (休館日を除く10:00~19:00)

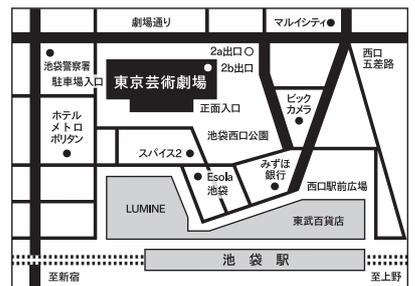
5F 芸劇キッズルーム ミュース (託児サービス)

東京芸術劇場でご鑑賞のお客様に開演1時間前~終演後30分までお子様をお預かり致します。

利用料金 生後4ヶ月~1歳児:2,160円/
2歳~6歳児:1,080円
お問合せ | 03-3981-7003

B2F・B3F 東京芸術劇場駐車場

利用料金 | 300円/30分
営業時間 | 7:00~24:00
お問合せ | 03-6914-0019



〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

開館時間 | 9:00~22:00 (休館日を除く)

お問合せ | 03-5391-2111

JR、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通路の2b出口に直結しています。

〈東京芸術劇場パートナー企業・団体 ご芳名〉 東京芸術劇場の年間運営事業に賛同し、ご支援くださっている皆さまです。

- | | | | |
|---------------------|-------------|---------------|-----------------------|
| アサヒグループホールディングス株式会社 | 立教大学 | ホテルメトロポリタン | キヤノン株式会社 |
| 株式会社 資生堂 | 丸茂電機株式会社 | 早稲田塾 | ヤマハサウンドシステム株式会社 |
| 明光義塾 | トヨタ自動車株式会社 | 株式会社フジテレビジョン | 株式会社 TBSテレビ |
| 凸版印刷三幸会 | 西池袋熱供給株式会社 | 株式会社WOWOW | 株式会社 松村電機製作所 |
| レンゴー株式会社 | 住友生命保険相互会社 | 東京臨海熱供給株式会社 | 渡邊建設株式会社 |
| 東京地下鉄株式会社 | 三精輸送機株式会社 | 株式会社 東京ビッグサイト | 香山壽夫建築研究所 |
| 株式会社 JTBコーポレートセールス | 株式会社 松田平田設計 | ソニー銀行株式会社 | HOTEL URBAN (ホテルアーバン) |

(2014年6月1日現在)